

**IBM 適用業務プログラム・
ドライバーOS/400用 バージョン3**

SH88-5030-00
(英文原典 : SH12-6402-00)

使用者の手引き

リリース 6.0



**IBM 適用業務プログラム・
ドライバーOS/400用 バージョン3**

SH88-5030-00
(英文原典 : SH12-6402-00)

使用者の手引き

リリース 6.0

注意

本書をお読みになる前、および本書で扱われているプロダクトをご使用になる前に、vページの『特記事項』の特記事項を必ずお読みください。

本書は、新しい版またはTNLで特に指示がない限り、IBM適用業務プログラム・ドライバー/400バージョン3(5716-PD1)のリリース6、モディフィケーション・レベル0とそれ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。本書で改訂された内容については、「変更内容の要約」を参照してください。本書がプロダクトのレベルに合った版であることを確かめて、ご使用になってください。

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、IBMがこのようなIBM製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原典： SH12-6402-00
IBM Application Program Driver/400 Version 3
User's Guide
Release 6.0
発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社
担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1995.12

©Copyright International Business Machines Corporation 1994, 1995. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1995

目次

特記事項	v
商標およびサービス・マーク	v
本書について	vi
本書の構成	vi
本書の対象読者	vi
第1章 はじめに	1
他の諸機能	1
第2章 オンライン・ヘルプ情報の使用	3
メニューのヘルプ	3
メニュー・バーのヘルプ	3
プルダウン・メニューのヘルプ	3
機能画面のヘルプ	4
メッセージのヘルプ	4
探索見出しの使用	4
第3章 ドライバーの画面	5
情報フィールド	6
表示域	6
選択項目または簡略コード域	6
簡略コードの探索	7
機能キー	8
メッセージ	10
メニュー・バー	10
メニュー・バーの説明	11
プルダウン・メニューの活動化	12
メニュー・バーおよびプルダウン・メニューにおける機能キー	13
メニュー・ウィンドウ	13
メニュー・ウィンドウの使用	15
選択機能のポップアップ・ウィンドウ	15
第4章 ドライバーの使用	18
ドライバーの開始	18
処理環境の選択	21
導入システムの選択	22
データ・セットの選択	23
印刷装置環境の選択	24
初期プログラムの選択	25
ドライバーのもとの適用業務の多国語サポート機能	26
言語の選択	26
適用業務の言語の選択	27
個人用メニューの作成	28
個人用メニューの使用	29

バッチ・ジョブのスケジューリング	29
バッチ・ジョブの投入	30
反復ジョブの実行	33
スケジュール済みバッチ・ジョブの処理	35
スケジュール済みバッチ・ジョブの変更	37
スケジュール済みバッチ・ジョブの削除	37
スケジュール済みバッチ・ジョブの保留および解放	38
他のバッチ・ジョブの検査	39
取消し済みジョブの処理	40
取り消されたジョブの再始動	42
対話式ジョブ	42
バッチ・ジョブ	42
取消し済みジョブの削除	43
バッチ・システムの状態の表示	43
第5章 複数のドライバー・タスクの維持	45
タスクの追加	46
中断されたタスクの選択	46
タスクの削除	47
付録A. プルダウン・メニュー	49
プルダウン・メニューの活動化	49
プルダウン・メニューのオプション	49
オプションに関するプルダウン・メニュー	49
環境に関するプルダウン・メニュー	50
操作に関するプルダウン・メニュー	51
サービスに関するプルダウン・メニュー	52
オフィスに関するプルダウン・メニュー	54
ヘルプに関するプルダウン・メニュー	55
付録B. メニュー・ウィンドウのカスケード表示	56
メニュー・バーのあるメニュー・ウィンドウのカスケード表示	56
メニュー・バーのないメニュー・ウィンドウのカスケード表示	59
用語および略語集	62
参考資料	67
索引	69

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

弊社は、お客様に対して以下のことを許諾します。

- 本媒体に収められた文書をお客様の社内使用のために複製し、改変し、印刷することができます。ただし、文書のすべての複製物上には、全文複製か部分複製かを問わず、著作権表示、すべての注意書きのほか必要な表示を行うものとしします。
- 文書の関連製品である、お客様所有のIBM製機械または移転が認められているIBM製プログラムを移転する場合、お客様は何等変更の加えられていない原文書を移転するものとしします。その際、お客様はその他すべての複製物を廃棄するものとしします。

お客様が上記の使用条件に違反した場合には、IBMはこの使用契約を解約することができます。この場合、お客様は、機械で読み取り得る形で提供された文書を破棄又は使用不可能にするものとしします。

商標およびサービス・マーク

本書の中でアスタリスク(*)を付けて使用されている次の用語は、米国およびその他の諸国におけるIBM社の登録商標です。

Application System/400	AS/400
Operating System/400	OS/400
IBM	OfficeVision/400
Operational Assistant	

本書について

本書ではIBM*ライセンス・プログラム適用業務プログラム・ドライバーOS/400用バージョン3 (プログラム番号5716-PD1)(以下ドライバーという)の使用法について説明しています。

本書の構成

本書は次に示す章より構成されています。

第1章、『はじめに』では、標準機能のほか、ドライバーの新しい機能について説明し、新しいタスクをリストして示し、説明します。

第2章、『オンライン・ヘルプ情報の使用』では、ドライバーで利用できるオンライン・ヘルプ情報のタイプを示し、この情報のアクセス法について説明します。

第3章、『ドライバーの画面』では、ドライバー画面のレイアウトおよび使用法について説明します。標準ドライバー画面上のすべてのフィールド、機能キー、メニュー・バー、プルダウン・メニュー、メニュー・ウィンドウ、および選択機能用のポップアップ・ウィンドウが詳細に説明されています。

第4章、『ドライバーの使用』には、作業環境、初期プログラム、個人メニューの選択、およびバッチ・ジョブの処理のようなドライバー・サービスの使用法が詳細に説明されています。

第5章、『複数のドライバー・タスクの維持』では、複数のドライバー・タスクの開始と終了の方法、特にタスクの追加、選択、および削除の方法について説明します。

付録A、『プルダウン・メニュー』には、プルダウン・メニューのレイアウトが示され、各プルダウン・メニュー上で使用できるオプションに関する簡単な説明があります。

付録B、『メニュー・ウィンドウのカスケード表示』では、メニュー・バーのある場合とない場合のメニュー・ウィンドウのつながりの例を示します。

『用語および略語集』には、本書で使用される用語が定義されています。

『参考資料』には、ドライバーに関連する資料のリストが示されています。

索引は、お客様が本書の中の情報を探し出す上で役立ちます。

本書の対象読者

本書は、AS/400*システムで適用業務を処理するエンド・ユーザーの方を対象としたものであり、エンド・ユーザーの方がAS/400について必ずしも豊富な経験を有している必要はありません。

エンド・ユーザーの方は、ドライバーの制御部分とそれに関連する諸機能を処理するだけであり、管理タスクを行う必要はありません。

第1章 はじめに

ドライバーは、複数の適用業務およびそれらの適用業務に共通する諸機能が単一の処理環境に統合されたメニュー主導のシステムです。追加の諸機能およびサービスを使用してドライバーをユーザーの特定の要件に合わせて変更することができます。

諸機能とサービスには次のものがあります。

初期メニュー選択

ドライバーにサインオンした後で表示したい初期メニューを指定することができます。システムにより中間メニューを呼ばずに、指定したメニューが表示されます。

個人用のメニュー選択

個人用のメニューを作成し、使用頻度の高いタスクをすべてそのメニューに組み込むことができます。

簡略コード

簡略コードを使用してメニューおよび適用業務に直接、移動することができます。中間メニューを経由したりサインオフの後でサインオンを行う必要がないため、時間の節約ができます。簡略コードを使用して、ドライバー以外の適用業務中の機能を開始する時、簡略コードの前に適用業務IDをつける必要はもはやありません。

他の諸機能

その他の重要なドライバー機能の中には次のものがあります。

ウィンドウ中のメニュー

全画面またはウィンドウにおいてメニューを表示することができます。いくつかのウィンドウがカスケード表示されます。

メニュー・バー

すべてのメニューには、メニュー・バーが含まれており、メニュー・バーから選択項目を選択することができます。メニュー・バーのオンまたはオフへの切替えを指定することができます。これまで通りに、簡略コードを使用することができます。

OfficeVision/400*サポート

すべての導入システムからOfficeVision/400の諸機能をアクセスすることができます。

プルダウン・メニュー

プルダウン・メニューはメニュー・バーのいずれの選択項目に対しても使用可能です。プルダウン・メニューには、選択するタスクのリストが示されます。

カスタマイズされたメニュー

全画面にするかウィンドウにするか、メニューの表示法を決めることができます。画面とウィンドウのメニュー・バー、タイトル域、ウィンドウ枠、メニュー選択項目域、およびコマンド行などの各種構成要素のカラーとスタイルを選択することができます。

適用業務用多国語サポート機能

ドライバーは、複数の言語で使用可能となる適用業務をサポートします。ドライバーのもとでは、異なる言語で同時に、1つの適用業務を使用することができます。

ドライバー用多国語サポート機能

ドライバー自体は複数の言語で使用することができ、異なる言語で同時に使用することができます。

ドライバーの機能とサービスの概要については、*IBM 適用業務プログラム・ドライバー OS/400用バージョン3概説書*,GH88-5029を参照してください。

第2章 オンライン・ヘルプ情報の使用

ドライバーは、画面と画面のフィールドの一般および特定のヘルプ情報を提供します。

ヘルププルダウン・メニューのヘルプについてオプションを選択するか、簡略コードHELPHelpを入力してヘルプについて情報画面を表示します。この画面では、ドライバー・オンライン情報システムからのヘルプ情報の取り出し方が説明されます。

ドライバーでは、いずれの活動画面からもオンライン・ヘルプ情報にアクセスすることができます。ヘルプ情報を取り出すには、カーソルをしかるべき箇所に位置づけなければなりません。カーソル位置が異なれば異なったヘルプが表示されます。使用できるヘルプの種類、およびヘルプ情報の表示法が次に説明されています。

F1(ヘルプ)を押して、ヘルプ画面を表示します。大部分のキーボードには、ヘルプ・キーもあります。ドライバーでは、ヘルプ・キーとF1(ヘルプ)には同じ効果があります。

メニューのヘルプ

メニューのヘルプ情報については、次のことを行ってください。

- カーソルをメニュー・オプションに位置づけると、そのオプションのヘルプが表示されます。
- カーソルを選択項目または簡略コードプロンプトに位置づけると、メニューを用いる上での一般的なヘルプが表示されます。
- カーソルをメニュー上の上記以外の任意の場所に置くと、活動メニューの一般的なヘルプが表示されます。

注： 以上の規則は、全画面メニューおよびメニュー・ウィンドウに適用されます。

メニュー・バーのヘルプ

メニュー・バーのヘルプ情報については、次のことを行ってください。

- メニュー・バー選択項目にカーソルを位置づけると、その選択項目のヘルプが表示されます。
- メニュー・バーを用いる上での一般的なヘルプの場合には、メニュー・バー表示の枠に、あるいはメニュー・バーのオプションとオプションの間にカーソルを位置付けます。

プルダウン・メニューのヘルプ

プルダウン・メニューのヘルプ情報については、次のことを行ってください。

- 上部の左隅の入力フィールドにカーソルを位置づけると、プルダウン・メニューの一般的なヘルプが表示されます。
- プルダウン・メニューの任意のオプションにカーソルを位置づけると、そのオプションのヘルプが表示されます。画面はある適用業務に属するヘルプ画面になることがあります。

- カーソルをプルダウン・メニュー上の上記以外の任意の場所に位置づけると、活動プルダウン・メニューの一般的なヘルプが表示されます。

機能画面のヘルプ

機能画面には、ドライバーにより **特定項目**および**拡張ヘルプ**情報が表示されます。特定項目ヘルプを受け取るためには、次のようにカーソルを位置づけてください。

- データ項目または出力フィールドに位置づけると、該当フィールドのヘルプが表示されません。
- 機能キー域に位置づけると、機能キーの使用法に関する説明が表示されます。ドライバー画面の一部では、機能キーの説明は、画面の一般的説明の一部となります。

拡張ヘルプでは、画面の一般的な説明および画面上の全ての項目に関する説明が示されます。拡張ヘルプが表示されるのは次の場合です。

- カーソルが画面の見出しや指示行のような、画面の特定域に位置していない。
- 特定項目ヘルプのヘルプ画面でF2(拡張ヘルプ)を押した。

メッセージのヘルプ

画面の最下行に表示されるメッセージのヘルプを受け取るためには、メッセージにカーソルを位置づけ、F1(ヘルプ)を押してください。

探索見出しの使用

ドライバーの任意のヘルプ画面でF11(探索見出し)を押すと、現在活動中のドライバー画面と直接には関係しない情報が探索できます。キーワードの一部の入力を求めるプロンプトが表示されます。これらのキーワードは、情報を探すためにシステムで用いられるものです。

例えば、バッチ・ジョブのスケジュール画面で、バッチという用語の意味が分からない場合には、F11(探索見出し)を押して、バッチという用語をタイプしてください。ここで、ドライバー・ヘルプ・システムはバッチという用語に一致するヘルプ情報のリストを表示します。このリストの中から必要な情報を選択してください。

任意のドライバー・ヘルプ画面でF1(ヘルプ)を押した場合には、AS/400ヘルプ・システムの使用法に関する詳細説明が表示されます。

第3章 ドライバーの画面

図1に示すように,すべてのドライバー画面には標準のレイアウトがあります。オプションと応答はタスクによって異なったものとなります。

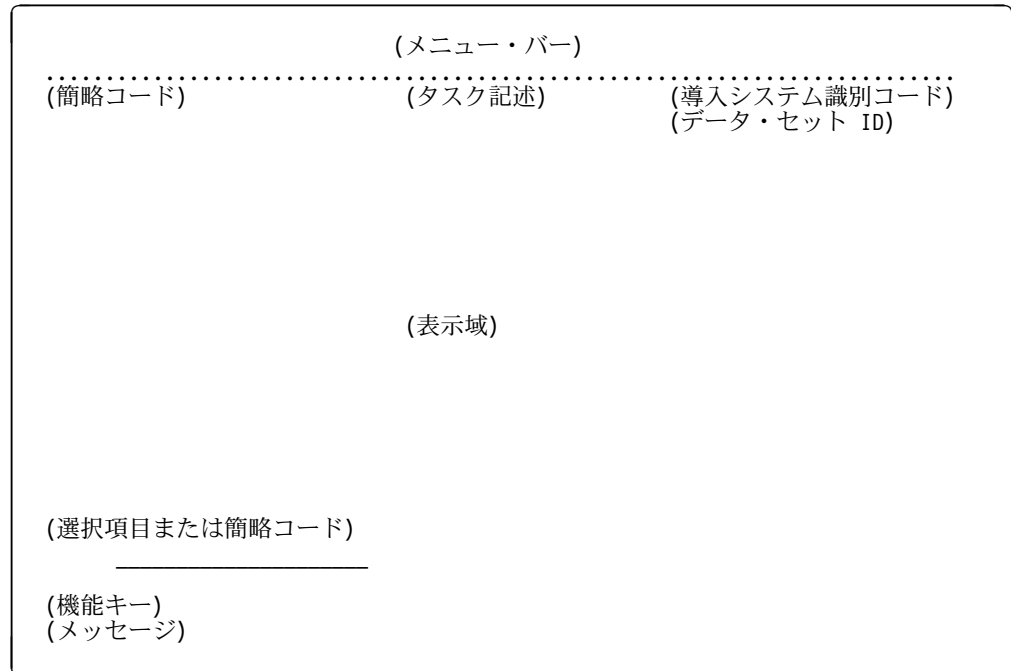


図 1. 標準ドライバー画面

情報フィールド

画面の上部の2行は,メイン・メニューのように,タスクを表すフィールド用に確保されており,必要に応じて,タスクの簡略コード,データ・セットのID,および導入システムのID 用に確保されることもあります。

表示域

タスク・オプション,プロンプト,および応答のための主表示域。

選択項目または簡略コード域

20行目にはプロンプトが表示され,21行目は選択項目または簡略コードを入力するためのコマンド行です。この域はすべてのメニュー画面に現れます。

機能キー

23行目には特定画面で使用できる機能キーが表示されます。使用できる機能キーが1行に収まらない場合には,F24(キーの続き)を押して追加の機能キーを表示してください。

メッセージ

24行目はAS/400システムおよびドライバー・メッセージ用に確保されます。

メニュー・バー

1行目と2行目はメニュー・バーであり,メニュー・バーの使用時に表示されます。メニュー・バーを使用するかどうかについては,ユーザーが決めることができます。

表示されているメニュー・バーは常に現行の全画面メニューに属しています。

情報フィールド

ドライバー画面のフィールドには次の情報が表示されます。

簡略コード

適用業務の名前と現に表示されているタスクまたはメニューの簡略コードがAPD/MAINのように、スラッシュ(/)で区切られ、表示されます。

タスクまたはメニューの説明

メイン・メニューのような、使用中のタスクまたはメニューの名前。

導入システムID

処理中の導入システムの識別コード。

データ・セットID

処理中の適用業務データ・セットの識別コード。

表示域

ドライバー・メニュー画面には、タスク・オプションのリストが表示され、各オプションの前には番号が付けられます。次のコマンド行はオプション・リストの下に表示されます。

選択項目または簡略コード

必要なタスク・オプションを選択するためには、次のうちのどれかを行ってください。

- オプション行にカーソルを位置づけ、実行キーを押す。
- コマンド行にオプション番号をタイプして、実行キーを押す。
- コマンド行にタスク・オプションの簡略コードをタイプして、実行キーを押す。トグル・キーとしてF11を使用し、各オプションの簡略コードを表示または隠すことができます。

注: 常に実行キーを押してタイプした項目の入力を確認するようにしてください。

ドライバー・メニュー画面の中には2ページ以上から成るものもあります。次のページのメニュー・オプションに進むためには、F8または次ページ・キーを押してください。

本書に示すメニューに表示されるオプション番号は、ドライバー管理担当者による変更により、画面に実際に表示されるものとは異なっていることがあります。オプションの一部には表示されないものもあります。これは、表示されないオプションに相当するタスクについては、処理する権限が与えられていないためです。

選択項目または簡略コード域

ドライバーのもとで適用業務タスクを処理したい場合には、ドライバーと適用業務メニューを介して処理を進め、タスクを含むメニューに至り、そのタスクを活動化します。そのメニュー上では、タスクに隣接するオプション行にカーソルを位置づけ実行キーを押すか、コマンド行で処理したいタスクのオプション番号をタイプし実行キーを押すことができます。

ドライバーの制御のもとでタスクの開始に慣れた後では、簡略コードを用いて、タスクのアクセスと開始に要する時間を短縮することができます。

ドライバーのもとで処理できる各タスクまたは適用業務メニューにはそれぞれ独自の簡略コードがあり、簡略コードはタスクを処理中に表示される画面の上部左端に表示されます。ドライバーのもとで特定のタスクを処理する回数が増せば、その分だけ、タスクの簡略コードを思い出しやすくなります。

処理したいタスクの簡略コードが分かっている場合には、タスク・オプションを含むメニューにアクセスする必要はありません。その代わりに、画面に表示された任意のメニューから所要のタスクを活動化することができます。この場合には、メニューのコマンド行に簡略コードをタイプし、実行キーを押してください。タスクはただちに処理されます。

簡略コードの探索

処理したいタスクの簡略コードの探索は次のようにして行うことができます。

任意のドライバー・メニューまたは適用業務メニューでF4(リスト)を押して、簡略コードの選択画面を表示してください。この画面には、処理が認可されているすべてのタスクの簡略コードのリスト、各タスクの名前、各タスクが属する適用業務のIDが表示され、画面の左側にはOption欄が示されます。このオプション欄に選択の指定をすることにより、この画面で直接、簡略コードを指定することができます。図2は簡略コードの選択画面の例を示したものです。

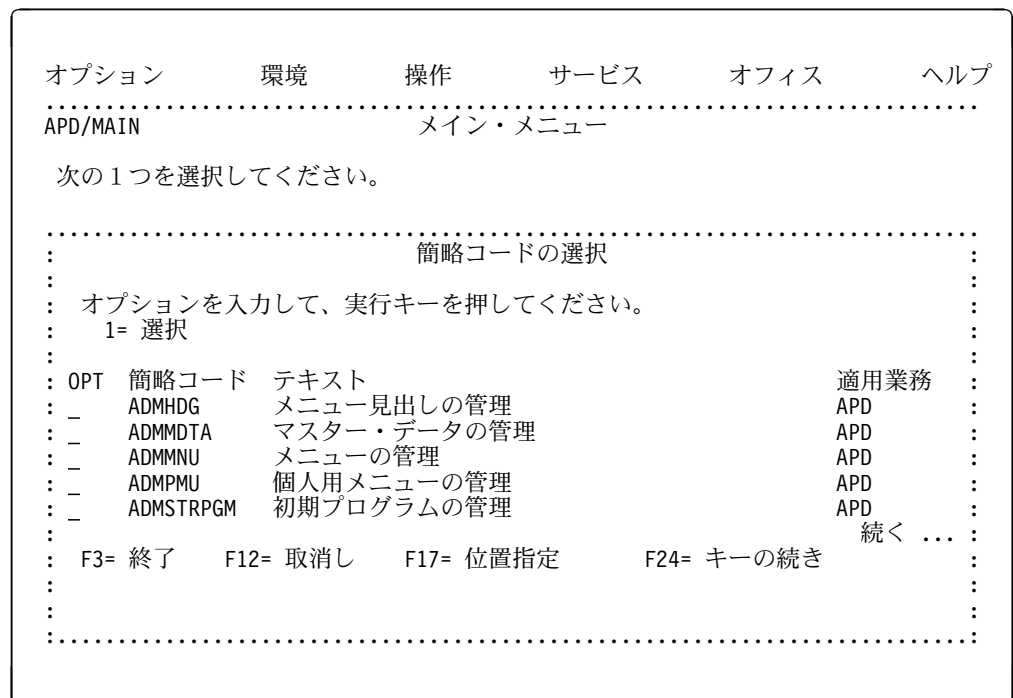


図 2. 簡略コードの選択

以上の簡略コードのリストから、次のことを行うことができます。

- リストの下部にあり、表示されていないタスクに直接進むためには、F17(位置指定)を押してください。リストの位置指定ウィンドウでは、タスクの最初の文字または名前をタイプして、実行キーを押してください。所要のタスクがドライバーにより探索できない場合には、カーソルが指定したタスクの、アルファベット順で次にあるタスクに移動します。

- F18(サブセット)を押して簡略コード・サブセットウィンドウを表示してください。簡略コードのリストをより絞りこむためには、F18 (9ページ) に説明されているように、3つのフィールドのうちの1つまたはそれ以上のフィールドの中に探索ストリングを入力してください。探索ストリングに一致する簡略コードのリストが表示されます。

注: 任意のドライバー・メニューまたは適用業務メニュー上で、F11(簡略コード)を押すと、処理が認可されているタスクの簡略コードが表示されます。F11を再度押すと簡略コードが隠れます。

1つの簡略コードを2つ以上の適用業務の中に入れ、異なった機能を表すようにすることができます。簡略コードを入力してタスクを開始させると、システムはそのタスクを探すために先ずドライバーを、次に他のすべての適用業務を探索します。タスクの簡略コードの前にタスクに属する適用業務のIDを、XXX/MAINのように付けることが必要となることがよくあります。ここで、XXXは適用業務のIDであり、MAINは開始したいタスクの簡略コードです。

機能キー

23行目は、使用できる機能キーを表示するために確保されています。各オプションには、例えばF3(終了)のように、番号と名前が示されています。例えば、F1キーを使用するとヘルプ・テキストが表示されます。

次によく使用される機能キーについて説明します。

F1=ヘルプ

カーソルの位置に応じて、各種の項目に関するヘルプ情報を表示するためには、F1を押します。例えば、カーソルがあるタスク(メニュー・オプション)に位置づけられている場合には、そのタスクに関するヘルプ情報が表示されます。カーソルが特定項目に位置づけられていない場合には、現在表示されているメニューに関する一般的な情報が表示されます。

注: F1キーの代わりにHELPキーを押すこともできます。これが行えるのは、キーボードでHELPキーが使用できる場合です。

F3=終了

タスクを終了し、初期メニューに戻るためには、F3を押してください。すでに初期メニューが表示されている場合には、メイン・メニューに戻ります。

F4=リスト

簡略コードの選択画面を表示するためには、F4キーを押してください。使用する権限のあるすべての簡略コードのリストが表示されます。

F5=最表示

変更の後で更新された画面を表示するためには、F5を押してください。

F7=前ページ, F8=次ページ

画面を上方または下方に移動させるためには、F7またはF8を押してください。メニューには最高99のオプションを入れることができます。オプションの数が多くて一度に表示できない場合には、画面を上下に動かすことができます。

画面の19行目に続く...が表示されている場合には、F8を押してオプションのリストの続きを表示することができます。この操作は最下部が表示されるまで続けることができます。

オプションのリストの中で戻るにはF7キーを押してください。前ページ・キーおよび次ページ・キーを使用して画面を上下に移動させることもできます。これが行えるのは、キーボードでそれらのキーが使用できる場合です。

F9=コマンドの複写

入力した最後の簡略コードを取り出すためには、F9を押してください。このキーを繰り返し押しすと、以前に入力したすべての簡略コードが表示されます。

F10=メニュー・バー

メイン・メニューからメニュー・バーを活動化させるか、メニュー・バーを非活動化させてメイン・メニューに戻るためには、トグル・キーとしての機能をもつF10を押してください。この機能キーが使用できるのは、メニュー・バーがオンに切り替えられている場合だけです。F12を用いてメニュー・バーを非活動化させることもできます。

F11=簡略コード (オプション)

メニュー上のオプションの簡略コードを表示させるか、簡略コードを表示させないでオプションを表示するためには、トグル・キーとしての機能をもつF11を押してください。

F12=取消し

機能を取消し、前の画面に戻るためには、F12を押してください。

F17=位置指定

リストの位置指定ウィンドウを表示するためには、F17を押してください。項目の名前の全体または名前の初めの部分のいずれかを指定して、実行キーを押してください。項目が見つからない場合には、指定した項目の、アルファベット順ですぐ後に続く項目(簡略コード、適用業務ID、データ・セットIDなど)にカーソルが位置付けられるということを思い出してください。

カーソルを最初の項目に移動させるためには*TOPを、カーソルをリストの最後の項目に移動させるためには*BOTを指定してください。

F18=サブセット

大画面形式の画面の一部またはファイルの一部を表示するためには、F18を押してください。

サブセットを選択するためのフィールドはアスタリスク(*)で始まります。サブセットを選択するためには、アスタリスクで始まる入力フィールドに探索ストリングを入力してください。アスタリスクの位置でタイプを開始してください。探索ストリングのタイプを終了した時点で実行キーを押してください。次の画面には指定した探索ストリングと一致しているすべての項目が表示されます。

探索ストリングを入力しないで実行キーを押すと、前の画面が再表示されます。

次の方法に従って探索ストリングを入力してください。

入力 結果

A 対応するフィールド中に、項目Aをもつ、すべての項目が表示されます。

A* Aで始まるすべての項目が表示されます。

一部の管理機能では、次にあげる探索基準の入力法を使用することができません。

***A** Aで終るすべての項目が表示されます。

A Aを含むすべての項目が表示されます。

***A*A** Aで終り、他の位置に別のAがあるすべての項目が表示されます。

テキストのサブセットの選択

テキスト・フィールド中のアスタリスクには特別な意味はありません。次のいずれかの方法に従い探索基準を入力してください。

入力 結果

Admin この項目がテキスト・フィールドに挿入された場合には、Adminを含むすべての項目が表示されます。テキスト・フィールド中にアスタリスクを入れる必要はありません。

Work S この項目がテキスト・フィールドに挿入された場合には、テキスト中の、任意の位置でWorkとそれに続くSを含むすべての項目が表示されます。Sとそれに続くWorkをもつ項目は表示されません。

F23=初期メニューの設定

ドライバーに対するサイン・オン時に初期メニューとして活動するメニューをセットするためには、F23を押してください。

F24=キーの続き

使用できるが、現行の画面には表示できない追加キーを表示するためには、F24を押してください。

メッセージ

AS/400システムとドライバーのメッセージは、画面の下部のメッセージ行に表示されます。これらのメッセージの意味は自明ですが、より詳しい情報が必要な場合には、カーソルをメッセージに位置付け、F1 (ヘルプ)キーを押してください。

メッセージには次の3種類があります。

- 通知メッセージ
- 確認メッセージ
- エラー・メッセージ

メニュー・バー

ドライバーはメニュー・バーおよびプルダウン・メニューを含みますから、ドライバーおよびドライバーの下で導入された適用業務の処理を容易に行うことができます。

ドライバーはメニュー・バーがある状態でも、ない状態でも使用することができます。メニュー・バーの省略時の設定はオンです。ただし、SWTMNUBAR(メニュー・バーの切替え)コマンドを用いてメニュー・バーをオフにしてから、再度オンにすることができます。この切替えは、ただちに有効とはなりません。タスクの終了を用いてドライバーを終了させてから、再びドライバーを開始することにより、この切替えが有効となります。

ドライバーの開始時にメニュー、適用業務、またはドライバー適用業務に対してメニュー・バーが何も定義されていない場合には、画面の下部にメニュー・バーが使用できないというメッセージが出されます。

11ページの図3はメイン・メニュー画面の上部のメニュー・バーを示したものです。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD/MAIN		メイン・メニュー			
次の1つを選択してください。					
1. 適用業務プログラム・ドライバー					
50. オフィスビジョン /400					
51. AS/400 操作援助機能					
90. タスクの終了					
選択項目または簡略コード					

F4= リスト		F10=メニュー・バー		F24= キーの続き	

図 3. Menu Bar

F10(メニュー・バー)を押してメニュー・バーを活動化してください。F10(メニュー・バー)によりメニュー・バーにカーソルが移動します。ここで、メニュー・バー選択項目を選択することができます。F10を再度押すか、F12を押してメニュー・バーを非活動化し、現行メニューの開始点に戻ってください。

全画面メニューでは、タブ・キーまたは矢印キーを用いて、カーソルを選択項目または簡略コード・フィールドからメニュー・バーに移動させるか、あるいはメニュー・バーから選択項目または簡略コード・フィールドに戻すことにより、メニュー・バーを活動化または非活動化することもできます。

メニュー・バーの説明

下記箇条は、メニュー・バーの表示、維持、および内容について説明したものです。

- メニュー・バー選択項目のカラーは、メニュー・バーが属している適用業務中の現行のカラー設定によって決まります。このカラーは未選択の選択項目に用いられます。
- メニュー・バーの枠のカラーは、メニュー・バーが属している適用業務中のウィンドウ枠の現行のカラー設定によって決まります。枠には4つの文字セット、7色のカラー、および2つの属性が使用できます。
- メニュー・バーには最高6つの選択項目を入れることができます。選択項目はメニューの管理画面で管理されます。

プルダウン・メニューの活動化

各メニュー・バー選択項目には、タスクを開始するためのプルダウン・メニューが必要です。メニュー・バーからタスクを開始することはできません。ユーザーが権限を与えられているタスクだけがプルダウン・メニュー上で使用することができます。

TABまたは矢印キーを用いてカーソルをメニュー・バー選択項目の1つに位置付けてください。実行キーを押してプルダウン・メニューを活動化してください。

プルダウン・メニューが表示された時点で、次の2通りの方法のうちのいずれかに従ってオプションを選択してください。

- オプション・フィールド中にオプションの番号をタイプしてください。
実行キーを押す必要はありません。
- オプションにカーソルを位置付け、実行キーを押してください。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
.....					
APD/MAIN		: 1. 印刷装置出力 ...		:	
		: 2. ジョブ ...		:	
次の1つを選択してください		: 3. メッセージ ...		:	
		: 4. メッセージの送信...		:	
1. 適用業務プログ		: 5. パスワード変更 ...		:	
		: 6. 操作援助機能 ...		:	
50. オフィスビジョン				:	
51. AS/400 操作援助				:	
				
90. タスクの終了					
.....					
選択項目または簡略コード					

	F4= リスト	F10=メニュー・バー	F24= キーの続き		

図 4. プルダウン・メニュー (操作)

メニュー・バー選択項目の操作にカーソルを位置付けてください。実行キーを押して、図4に示すように操作に関するプルダウン・メニューを表示してください。

プルダウン・メニューは選択したメニュー・バー選択項目のすぐ下に表示され、このメニューには最大9つのオプションを表示することができます。メニュー・バーが属している適用業務で定義されたカラーは、プルダウン・メニュー上のすべての項目(枠,選択項目)に使用されません。

あるプルダウン・メニューから他のプルダウン・メニューに切り替えるためには、TAB・キーまたは矢印キーを用いて、カーソルをしかるべきメニュー・バー選択項目に移し、実行キーを押してください。

メニュー・バーおよびプルダウン・メニューにおける機能キー

メニュー・バーでは、F1(ヘルプ)、F10(メニュー・バー)、およびF12(取消し)のみが使用できます。活動メニュー・バーからF10またはF12を選択して押すと、メニュー・バーは非活動化され、制御がメニューに戻ります。

プルダウン・メニューでは、F1(ヘルプ)、F10(メニュー・バー) および F12(取消し) を使用することもできます。

プルダウン・メニューで F10(メニュー・バー) を押すと、制御がメニューに戻ります。

プルダウン・メニューを終了させると、プルダウン・メニューが消えます。

例外: メニュー・バーをウィンドウから活動化させると、制御がメニュー・バーに戻ります。プルダウン・メニューで F12(取消し) を押すと、制御がメニュー・バーに戻ります。

プルダウン・メニューから元の画面に戻るためには、F12(取消し)を押してメニュー・バーに戻り、次に再びF12(取消し)を押すか、またはF10(メニュー・バー)を押して元のメニューの最初の開始点に戻ってください。カーソルを元の画面に直接移動させ、そこで機能を処理することはできません。

メニュー制御

プルダウン・メニューから選択したタスクが処理されると、制御は元のドライバー・メニューに戻ります。プルダウン・メニューからメニュー・タスクを選択すると、そのメニューが表示され、制御メニューになります。

カーソル位置付けに依存するヘルプ

表示されるヘルプ情報は、メニュー・バーまたはプルダウン・メニューでカーソルをどこに位置付けるかに応じて変わります。メニュー・バーおよびプルダウン・メニューの一般的なヘルプを受け取るためには、カーソルがメニュー・バーの枠にある時に、F1(ヘルプ)を押してください。

プルダウン・オプション中のタスクの特定ヘルプを受け取るためには、プルダウン・メニューが活動している時にカーソルをそのオプションに位置付けた状態でF1(ヘルプ)を押してください。

メニュー・ウィンドウ

ドライバーにより、ウィンドウでメニューが表示されます。2つ以上のメニュー・ウィンドウが同時に画面に表示される場合には、ウィンドウはカスケード式に表示されます。

ユーザーはウィンドウのメニューを使用するか否かを定めることができます。ウィンドウのメニューを使用しないことに決めた場合には、メニューは通常通り、全画面に表示されます。メニュー・ウィンドウのタスク・オプションの処理は通常の全画面メニューのオプションの処理と同じです。

ドライバー管理担当者は既存のドライバー・メニューのいずれかがウィンドウに表示できるかを決めます。

メニュー・ウィンドウの使用

メニュー・バーをもつメニュー・ウィンドウの使用時には、次の2通りの方法のうちのいずれかに従って、そのメニュー・バーを表示することができます。

- F23(初期メニューの設定)を押して、初期メニューとしてウィンドウ中に現在表示されているメニューを設定します。初期メニューが全画面に常に表示されます。
- 適用業務管理担当者に依頼し、そのメニューの表示モードをウィンドウから全画面に変更してもらってください。

メニュー・ウィンドウでは、次の3通りの方法のうちのいずれかに従って処理を進めることができます。

- メニュー・オプションにカーソルを位置付け、実行キーを押してください。
- コマンド行のメニュー・オプションの番号をタイプして、実行キーを押してください。
- コマンド行の任意のタスクの簡略コードをタイプして、実行キーを押してください。

メニュー・ウィンドウの活動化の時点で、制御は該当のウィンドウに転送されます。制御を切り替え元の全画面表示に戻すためには、ウィンドウが消えるまでF12(取消し)を押さなければなりません。取消しが済むと全画面メニューが表示されます。

制御を全画面表示画面のメニュー・バーに移すためには、メニュー・ウィンドウでF10(メニュー・バー)を使用してください。

選択機能のポップアップ・ウィンドウ

ここで、すべての選択機能がポップアップ・ウィンドウに表示されます。これらの機能は次の通りです。

- 導入システムの選択
- 適用業務の選択
- データ・セットの選択
- 簡略コードの選択
- 中断されたタスクへの転送
- 印刷装置の選択
- 言語の選択

すべての選択機能のウィンドウは、次に示すデータ・セットの選択のウィンドウと類似したものとなります。

16ページの図6から図9に示された次の例では、環境プルダウン・メニューから3 データ・セットを選択し、F17(位置指定)およびF18(サブセット)を押した結果が示されています。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD/MAIN	: 3	1. 導入システム...	:		
	:	2. 適用業務...	:		
次の1つを	:	3. データ・セット...	:		
	:	4. タスク...	:		
1. 適	:	5. 印刷装置...	:		
	:	6. 言語...	:		
50. オ	:		:		
51. AS/4	:		:		
90. タスクの終了					
選択項目または簡略コード					

		F4=リスト	F10=メニュー・バー	F24=キーの続き	

図 6. プルダウン・メニューからのデータ・セットの選択

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD/MAIN		メイン・メニュー			
次の1つを選択してください。					
: APD/SLTDS データ・セットの選択 :					
: オプションを入力して、実行キーを押してください。 :					
: 1= 選択 :					
: オブ データ・ :					
: ション セット 適用業務 テキスト :					
: - DS03 PAYROLL IBM :					
: - DS04 PAYROLL EXTRA1 :					
: - DS05 PAYROLL INTER :					
: - DS06 PAYROLL RRSERV :					
: - DS07 PAYROLL SLBANK :					
: 続く ... :					
: F3= 終了 F5= 再表示 F12= 取消し F17= 位置指定 F18= サブセット :					
: :					
: :					
: :					

図 7. ポップアップ・ウィンドウを使用したデータ・セットの選択

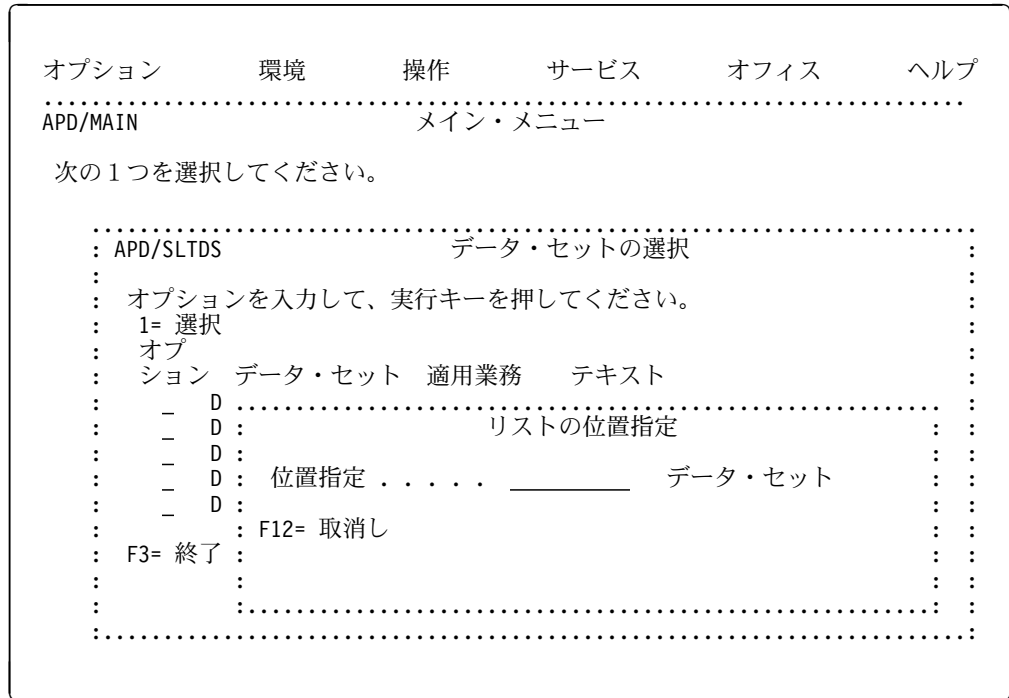


図 8. リスト・ポップアップ・ウィンドウの位置指定

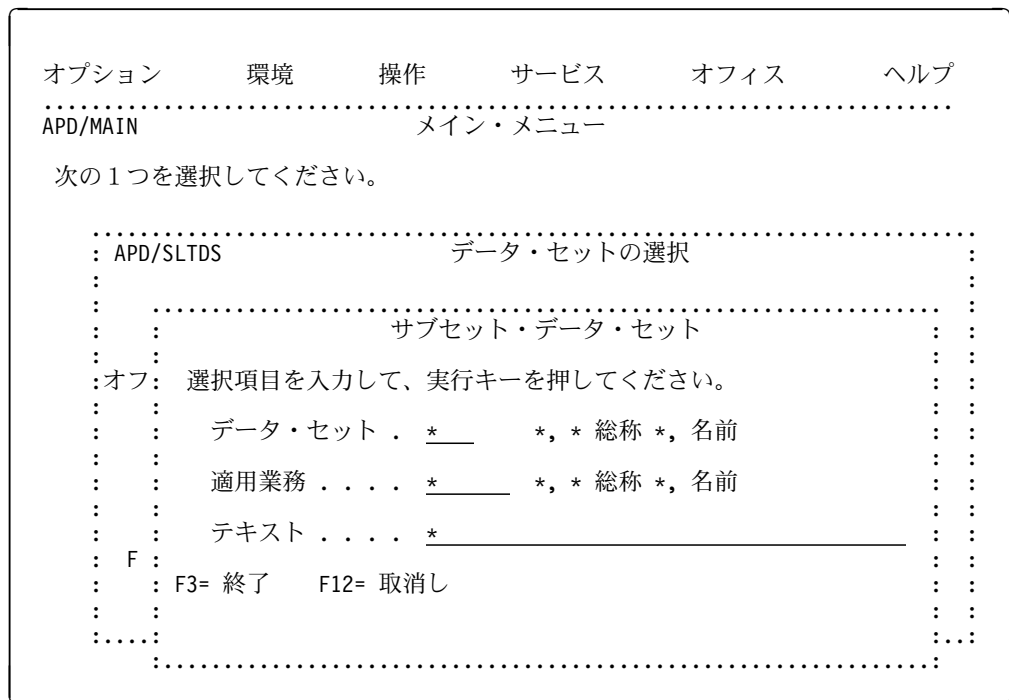


図 9. サブセット・ポップアップ・ウィンドウ

プルダウン・メニュー、メニュー・ウィンドウ、およびウィンドウのカスケード表示に関する詳細については、49ページの付録A、『プルダウン・メニュー』および56ページの付録B、『メニュー・ウィンドウのカスケード表示』を参照してください。

第4章 ドライバーの使用

この章では、ドライバー・サービスおよびドライバー・サービスの使用法について説明します。

ドライバーの開始

AS/400に対するサイン・オン時にドライバーに直接進みたいことがあります。ドライバーに直接進まない場合には、次のように処理を進めてください。

1. AS/400にサイン・オンする。
2. AS/400のメイン・メニューのコマンド行にSTRAPDをタイプする。
3. 実行キーを押す。

図10に示すように、システムはドライバーのメイン・メニューを表示します。

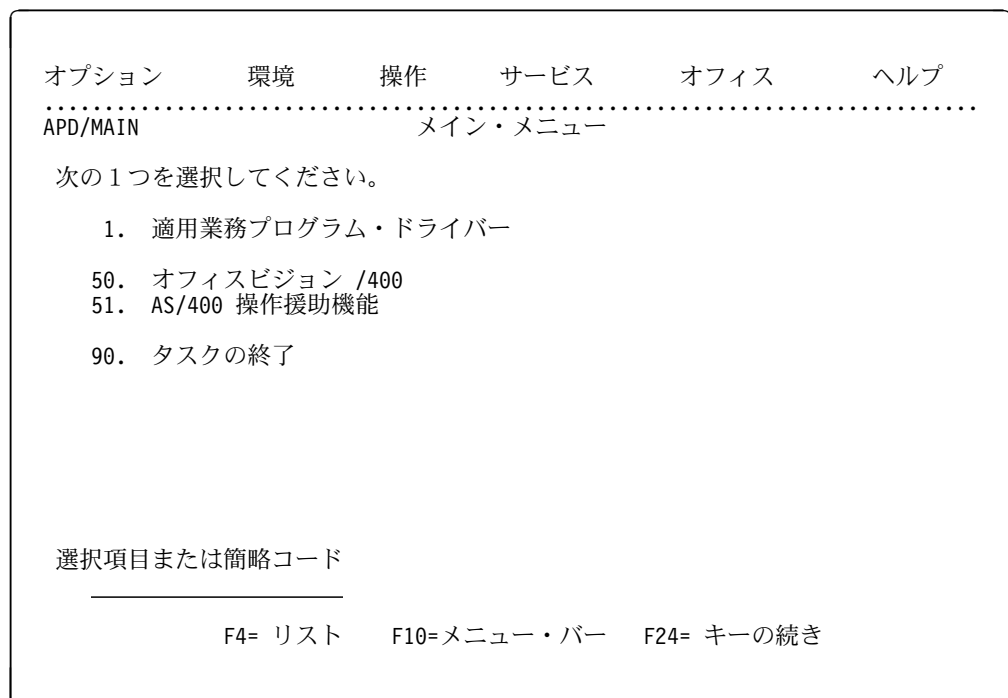


図 10. ドライバー・メイン・メニュー

オプション1(適用業務プログラム・ドライバー),または簡略コードAPDを指定してください。システムはドライバーの初期メニューを表示します。このメニューには、そのユーザーに使用が認可されている機能が示されます。19ページの図11はドライバーの初期メニューの例を示したものです。

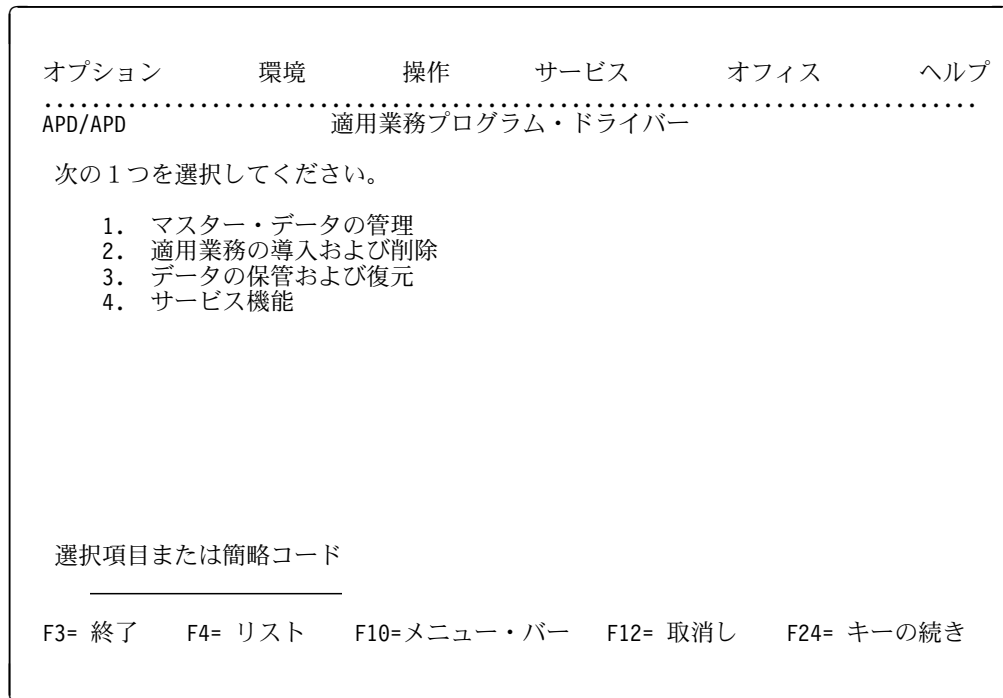


図 11. ドライバー初期メニュー

オプション番号または簡略コードEXTSRVを入力して,サービス機能メニューを選択してください。システムは次のメニューを表示します。

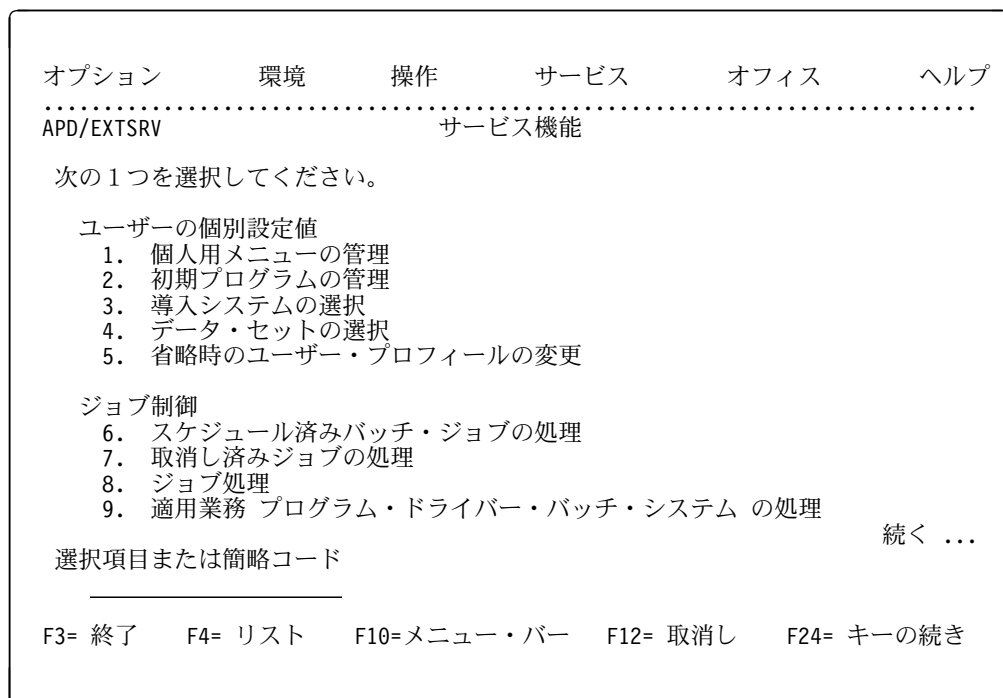


図 12. サービス機能(1ページ目)

F8または次ページ・キーを押して、このメニューの2ページ目を表示することができます。20ページの図13には、F24(キーの続き)を押した時点で表示される追加の機能キーが表示されています。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD/EXTSRV					
サービス機能					
次の1つを選択してください。					
出力待ち行列の印刷					
10. 印刷装置の選択					
11. 印刷装置出力の処理					
その他					
12. メッセージの処理					
13. コマンド入力行					
14. 言語の選択					
					終了
選択項目または簡略コード					

F9=コマンドの複写	F11=簡略コード	F23=初期メニューのセット	F24=キーの続き		

図 13. サービス機能(2ページ目)

サービス機能メニューに表示されないオプションは、権限をもつユーザーだけが表示してアクセスすることができます。

サービス機能メニューに表示されるオプションは次の通りです。

1. 個人用メニューの管理

ユーザーの使用頻度の最も高いタスクから成る個人用メニューを作成するためには、このオプションを選択してください。
2. 初期プログラムの管理

ドライバーにサイン・オンした後で自動的に実行するプログラムを指定するためには、このオプションを選択してください。
3. 導入システムの選択

他の導入システムで処理するためには、このオプションを選択してください。
4. データ・セットの選択

他のデータ・セットに変更するためには、このオプションを選択してください。
5. 省略時のユーザー・プロフィールの変更

省略時のユーザー・プロフィールを変更するためには、このオプションを選択してください。これが行えるのは変更の権限をもっている場合です。
6. スケジュール済みバッチ・ジョブの処理

ドライバーにおいてスケジュールしたバッチ・ジョブを変更するためには、このオプションを選択してください。

7. 取消し済みのジョブの処理

中断されたバッチ・ジョブを再開または除去するためには、このオプションを選択してください。

8. ジョブの処理

オペレーティング・システム/400*(OS/400*)のユーザー・ジョブを処理するためには、このオプションを選択してください。

9. 適用業務プログラム・ドライバー・バッチ・システムの処理

バッチ・システムの状態を表示するためには、このオプションを選択してください。

10. 印刷装置の選択

単一のジョブまたはタスクの印刷装置環境を変更するためには、このオプションを選択してください。永続的に変更するためにも、このオプションを選択してください。

11. 印刷装置出力の処理

OS/400のすべてのスプール・ファイルを処理するためには、このオプションを選択してください。

12. メッセージの処理

AS/400システムおよびドライバーに関するすべてのメッセージを表示するためには、このオプションを選択してください。

13. コマンド入力行

AS/400コマンド入力ウィンドウを表示するためには、このオプションを選択してください。このAS/400ウィンドウではコマンドのリストを表示するためにF4を、前のコマンドを取り出すためにF9を押すことができます。

14. 言語の選択

言語の優先順位のリストを指定するためには、このオプションを選択してください。

詳しくは、システム管理担当者に問い合わせてください。

処理環境の選択

サービス機能メニューにより、ドライバー環境の選択と制御に役立つオプションが提供されます。提供されるオプションは次のとおりです。

- 導入システムの選択
- データ・セットの選択
- 印刷装置の選択
- 初期プログラムの管理
- 言語の選択

導入システムの選択

ドライバー管理担当者が、テスト環境,研修環境,および稼働環境用に別個の導入システムを設定していることがあります。

2つ以上の導入システムで処理が行える場合には、使用可能な導入システム間でシステムの切替えを行うことができます。

サービス機能メニューからオプション3(導入システムの選択)を、環境プルダウン・メニューからオプション1(導入...)を、あるいは簡略コードSLTINSを入力して導入システムの選択画面を表示してください。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD/APD 適用業務プログラム・ドライバー					
次の1つを選択してください。					
.....					
:	APD/SLTINS		導入システムの選択	:	:
:	オプションを選択して、実行キーを押してください。				:
:	1= 選択			:	:
:	オプション	導入	テキスト	:	:
:	-		省略時の導入システム	:	:
:	-	101	導入システムの研修	:	:
:	-	123	導入システムのテスト	:	:
:				:	:
:				:	終了
:	F3= 終了	F5= 再表示	F12= 取消し	F17= 位置指定	:
:				:	:
:				:	:
F3=				:

図 14. 導入システムの選択

図14は、導入システムの選択画面の例を示したものであり、この画面には、認可されて処理ができる、すべての導入システムのリストが表示されます。この画面上のフィールドには、次の情報が示されます。

導入 導入システムのID

テキスト 導入システムの記述

導入システムを選択するためには、選択したい導入システムの左側にあるオプション欄に1をタイプして実行キーを押してください。

データ・セットの選択

ドライバーでは、各種のデータ・セットを適用業務の中で用いることができます。これは、企業別、顧客別、または部門別にデータを維持する上で有用です。

2つ以上のデータ・セットを使用して処理を行う場合は、使用可能なデータ・セット間でデータ・セットの切替えを行うことができます。

サービス機能メニューからオプション4(データ・セットの選択)を選択するか、環境 プルダウン・メニューからオプション3(データ・セット...)を選択するか、あるいは簡略コード SLTDSを入力してデータ・セットの選択画面を表示してください。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
.....					
APD/MAIN		メイン・メニュー			
次の1つを選択してください。					
.....					
: APD/SLTDS		データ・セットの選択			:
:					:
:	オプションを入力して、実行キーを押してください。				:
:	1= 選択				:
: オプ	データ・				:
: ショ	セット	適用業務	テキスト		:
:	- DS03	PAYROLL	IBM		:
:	- DS04	PAYROLL	EXTRA1		:
:	- DS05	PAYROLL	INTER		:
:	- DS06	PAYROLL	RRSERV		:
:	- DS07	PAYROLL	SLBANK		:
:					:
:	F3= 終了	F5= 再表示	F12= 取消し	F17= 位置指定	F18= サブセット
:					続く ...
:					:
:					:
:					:
.....					

図 15. データ・セットの選択

図15はデータ・セットの選択画面の例を示したものであり、この画面には使用が認可されているすべてのデータ・セットのリストが表示されます。この画面上のフィールドには、次の情報が示されます。

データ・セット データ・セットのID

適用業務 データ・セットが属する適用業務のID

テキスト データ・セットの記述

データ・セットを選択するためには、選択したいデータ・セットの左側にあるオプション欄に1をタイプし、実行キーを押してください。

印刷装置環境の選択

印刷環境を選択するためには、サービス機能メニューでオプション10(印刷装置の選択)を選択するか、環境プルダウン・メニューからオプション5(印刷装置...)を選択するか、あるいは簡略コード SLTPRTを入力して印刷装置の選択画面を表示してください。

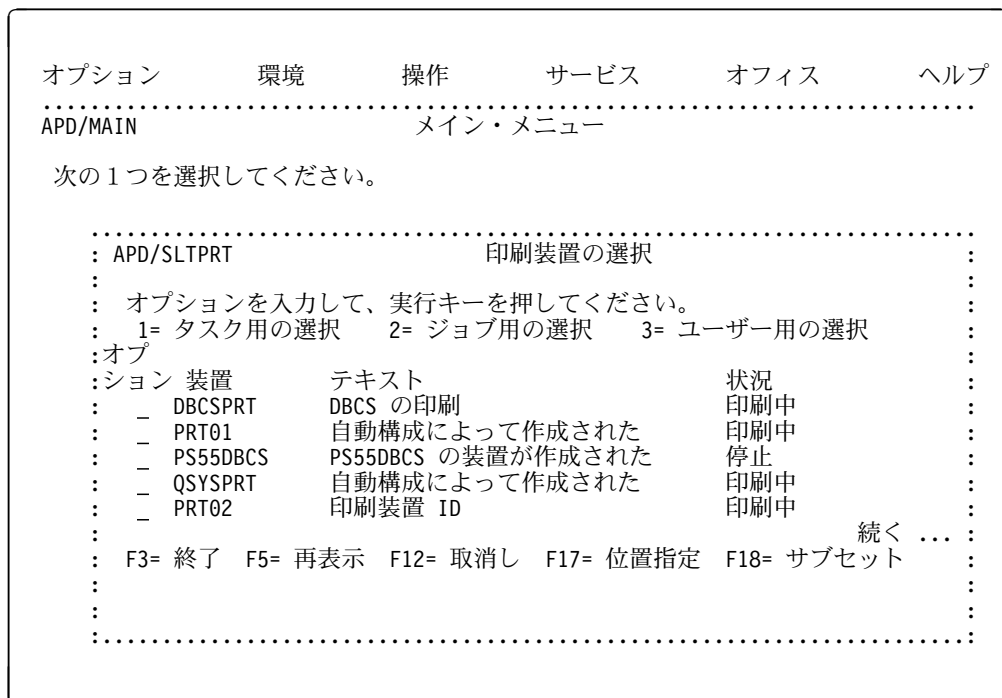


図 16. 印刷装置の選択

図16は、印刷装置の選択画面の例を示したものであり、この画面には、このユーザーに使用が認可されている印刷装置のリストが表示されます。現行印刷装置は反転イメージで表示されています。この画面上のフィールドには、次の情報が示されます。

装置 印刷装置の識別

テキスト 印刷装置に関する簡単な説明

状況 印刷装置の現在の状況

印刷装置を選択するには、選択したい印刷装置の左側にあるオプション欄に次のオプションのうちの1つをタイプして実行キーを押してください。

1 = 次に処理されるタスクで使用される印刷装置が選択されます。タスクの終了時にドライバーにより環境が省略時の印刷装置にリセットされます。

2 = 現行のセッションで使用する印刷装置が選択されます。サインオフの時点ドライバーにより環境が省略時の印刷装置にリセットされます。

3 = 省略時の印刷装置が選択されます。この印刷装置は、このオプションを使用して別の印刷装置を省略時の印刷装置として指定するまで、すべてのタスクまたはジョブで省略時の印刷装置となっています。

初期プログラムの選択

ドライバーにサインオンした時点で実行する初期プログラムを指定することができます。初期プログラムの実行が終了した時点で、ドライバーにより初期メニューが表示されます。

初期プログラムを選択するためには、サービス機能メニュー上でオプション2(初期プログラムの管理)を選択するか、簡略コードADMSTRPGMを入力して初期プログラムの選択画面を表示してください。

オプション	簡略コード	タイプ	テキスト	適用業務
	*NONE		初期プログラムの脱落	
-	ADMAPDPRM	P	パラメーターの管理	APD
-	ADMAPL	P	適用業務の管理	APD
-	ADMAUT	P	権限認可の管理	APD
-	ADMCOE	P	データ・セットの管理	APD
-	ADMCTLREC	P	制御レコードの管理	APD
-	ADMDS	P	データ・セットの管理	APD
-	ADMENV	P	バッチ環境の管理	APD
-	ADMEXC	P	排他的管理	APD
-	INVOI	P	送り状	PAY
-	PRTINV	P	送り状の印刷	PAY
-	SALFIG	P	販売数の印刷	PAY

APD/ADMSTRPGM 初期プログラムの選択

現行初期プログラム . . . : *NONE

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 選択

F3= 終了 F12= 取消し F18= サブセット F24= キーの続き

続く ...

図 17. 初期プログラムの選択

F24(キーの続き)キーを押して、この画面で使用できる機能キーの続きを表示することができます。

図17は、初期プログラムの選択画面の例を示したものであり、この画面には初期プログラムの選択元となるプログラムのリストが表示されます。この画面上のフィールドには、次の情報が示されます。

現行初期プログラム サインオン時に実行するように現に割り当てられているプログラムの簡略コード。初期プログラムを選択していない場合には、*NONEが表示されます。

簡略コード プログラムの簡略コード。

タイプ 簡略コードのタイプ(P,L,またはC)。

テキスト プログラムの簡単な説明。

適用業務 プログラムの所属先の適用業務。

初期プログラムとしてあるプログラムを選択するためには、選択したいプログラムの左側にあるオプション欄に1をタイプし、実行キーを押してください。

選択した初期プログラムが必要でなくなった場合には、簡略コード*NONEを選択してください。

ドライバーのもとでの適用業務の多国語サポート機能

個人用言語優先順位リストを設定している場合には、ドライバーにより次のことが行われます。

- 優先順位の最も高い言語でヘルプ情報を表示する。
- 第2言語でヘルプおよびメッセージを表示する。

言語の選択

各ユーザーは優先順位に従う言語のリストを指定することができます。この優先順位のリストは、OS/400、ドライバー、およびすべての適用業務で有効です。言語の優先順位リストを指定するためには、サービス機能メニューでオプション14 (言語の選択)を、あるいは環境プルダウン・メニューでオプション6(言語...)を選択するか、簡略コードSLTLNGを入力してください。

言語の選択ウィンドウには、少なくとも1つの適用業務で使用される使用可能な言語のリストが表示されます。このリストを用いて、8つの言語に優先順位を付けた独自の処理言語リストを作成することができます。

この指定は1度だけすれば済みますが、リスト上の優先順位はいつでも変更することができます。リスト上のある言語で使用できる適用業務を選択した場合にはいつでも、その言語で選択した適用業務を使用することができます。

前もって選択した言語の優先順位は言語リストの上部に表示されます。リスト上で最初に示される言語が優先順位の高い言語です。

図18は、言語の優先順位のリストの例を示したものです。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD	APD/SLTLNG	言語の選択			
:	:	:	:	:	:
:	:	使用言語のリストを指定するために、最大8つの言語を選択してください。	:	:	:
:	:	言語を追加するためには、1-8の優先順位を入力してください。	:	:	:
:	:	言語の位置を変更するためには、優先順位を再入力してください。	:	:	:
:	:	言語を除去するためには、その優先順位にスペースを入力し、	:	:	:
:	:	実行キーを押してください。	:	:	:
:	:	優先順位	言語	:	:
:	:	1	フランス語	:	:
:	:	2	ベルギー・オランダ語	:	:
:	:	3	英語	:	:
:	:	-	日本語	:	:
:	:	-	カナダ・フランス語	:	:
:	:	-	ドイツ語	:	:
:	:	:	:	続く ...	:
:	:	F5= 再表示	F12= 取消し	:	:
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:

図 18. 言語の選択

適用業務の言語の選択

異なる適用業務のタスクがドライバー・メニューに含まれている場合には、ドライバーにより各タスクの説明に用いられる言語が選択されます。ドライバーは、ユーザーの言語優先順位リストを用いて、適用業務で使用できる言語から1つの言語を選択します。

次の条件のもとで、ドライバーによるメッセージまたはヘルプの表示が必要とされる場合には、適用業務の言語の選択ウィンドウが表示されます。

- 適用業務で2つ以上の言語が使用できる場合。
- 言語優先順位のリストを使用していない場合。
- 適用業務が優先順位リスト中のどの言語も使用することができない場合。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD/MAIN					
メイン・メニュー					
次の1つを選					
1.	適用	適用業務用の言語の選択			
50.	オフ	適用業務. . .	PAYROLL		
51.	AS/40	使用する言語を選択し、実行キーを押してください。			
90.	タス	1=	選択		
	オプション	言語			
	1	ドイツ語			
	-	日本語			
	-	カナダ・フランス語			
	-	スペイン語			
	選択項目また				終り
		F12=	取消し		

図 19. 適用業務言語の選択ウィンドウ

図19は、適用業務の言語の選択ウィンドウの例を示したものです。このウィンドウのフィールドには次の情報が示されます。

適用業務 言語を選択する必要がある適用業務。

ドライバーにとり適用業務の説明を表示するための言語が未知であるため、適用業務の説明部分は適用業務IDで表示されます。

言語 適用業務で使用できる言語のリスト。

このポップアップ・ウィンドウでは、適用業務の言語を選択しなければなりません。ここで、選択した言語は、後の使用に備えて記憶されますが、独自の言語優先順位リストを作成した時点でただちに削除されます。

個人用メニューの作成

頻繁に使用するタスクは、1つのメニューにまとめることが必要であり、また有用でもありません。ドライバーでは、ユーザーに使用が認可されている導入システムごとに、個人用メニューを作成することができます。

現行の導入システム用に個人用メニューを作成するためには、サービス機能メニューでオプション1(個人用メニューの管理)を選択するか、簡略コードADMPMUを入力して、個人用メニューの管理画面を作成してください。

APD/ADMPMU		個人用メニューの管理		
メニュー・タスク . . . :		JIM	個人用メニュー	
オプションを入力して、実行キーを押してください。				
メニューにタスクを追加するためには、1-99のオプション番号を入力してください。				
タスクの位置を変更するためには、オプション番号を変更してください。				
タスクを除去するためには、オプション番号をスペースにしてください。				
オプション	タスク	テキスト	適用業務	
01	ADMAPDRM	パラメーターの管理	APD	
03	ADMPL	適用業務の管理	APD	
06	ADMAPP	適用業務の管理 (開発担当者)	APD	
—	ADMAUT	権限リストの管理	APD	
—	ADMCOE	データ・セットの管理	APD	
—	ADMCTLREC	制御レコードの管理	APD	
—	ADMDS	データ・セットの管理	APD	
—	ADMENV	バッチ環境の管理	APD	
—	ADMEXC	排他の管理	APD	
—	ADMHDG	メニュー見出しの管理	APD	
F3= 終了		F5= 再表示	F12= 取消し	F17= 位置指定
				F18= サブセット

図 20. 個人用メニューの管理

図20は、個人用メニューの管理画面の例を示したものであり、この画面には使用できるタスクのリストが表示されます。上記のリストから、変更するタスク、個人用メニューに追加するタスク、および個人用メニューから除去するタスクを選択することができます。この画面上のフィールドには、次の情報が示されます。

メニュー・タスク	個人用メニューの名前。この名前は常にユーザーIDです。
タスク	ユーザーに使用する権限が与えられているタスクのリスト。
テキスト	各タスクの簡単な説明
適用業務	タスクが属している適用業務のID

選択済みのタスクがあれば、現行の番号が、オプション欄に表示されます。選択したタスクは、F18を押すことにより表示されるサブセットと一致しない場合でも、常にリストの上部に表示されます。

1から99までのすべてのオプション番号が有効です。オプション欄に番号を入力することにより個々のタスクに番号を割り当てたり、オプション番号をブランクに置き換えることによりタスクを除去したりすることができます。

オプション番号の指定が終了した時点で、実行キーを押してください。

個人用メニューの使用

個人用メニューを作成した場合には、次の3通りの方法に従ってそのメニューにアクセスすることができます。

- いずれのドライバーまたは適用業務メニューにおいても、コマンド行にユーザー・プロフィールの名前をタイプし、実行キーを押してください。ユーザー・プロフィールの名前がUSERの場合には、USERをタイプしてください。
- 現行の適用業務(活動メニューが属している適用業務)またはドライバーのいずれかにおいて同じ名前の他のメニューがすでに存在している場合には、同じ名前のメニューが表示されます。この場合には、すべての個人用メニューがAPD+適用業務に属しているため、個人用メニューの名前をAPD+/USERとしてください。

APD+は個人用メニューへのアクセスに用いられる特別な適用業務IDです。

- 個人用メニューを初期メニューにしたい場合には、個人用メニューが表示されている間にF23を押してください。こうすることにより、ドライバーにサインオンした時点で個人用メニューが常に最初のメニューとして表示されます。

バッチ・ジョブのスケジューリング

ドライバーにより、バッチ・ジョブを実行することができます。バッチ・ジョブは、背景処理として対話を必要とすることなく実行しますから、バッチ処理が行われている間に他の処理を続行することができます。

タスクがバッチ・ジョブとして実行するようになっている場合には、メニューからオプション番号を選択するか、ドライバー・メニューで簡略コードを入力してください。次に表示されるドライバー画面の順序と内容は、適用業務の管理担当者または適用業務の開発担当者がすでに決めています。

注: ここで説明されている項目のすべてが画面に表示されるとは限りません。

1つのジョブを繰り返して実行する場合には、時刻表の名前および反復ジョブの最終実行日も指定することができます。

バッチ・ジョブの投入

メニューから、または簡略コードの入力によりバッチ・タスクを選択すると、バッチ・ジョブのスケジュール画面が表示されます。

タスクの作成時に管理担当者が指定した内容によっては、この画面が通知するだけの画面となることもあります。変更が認められている値は入力フィールドに表示されます。画面でF10(時刻表の使用)キーが使用できる場合には、そのタスクを反復バッチ・ジョブとして実行することができます。

PAY/SALESFIG		バッチ・ジョブのスケジュール	
次のバッチ・ジョブをスケジュールしようとしています。			
導入システム . . . :		省略時の導入システム	
適用業務 :	PAYROLL	給与計算	
タスク :	SALESFIG	販売数	
必要な場合には、スケジュール・パラメーターを一時変更して、実行キーを押してください。			
開始日 :	<u>1993-03-19</u>	YYYY-MM-DD	
開始時間 :	<u>18:17</u>	HH:MM	
バッチ環境 :	_____	リストは F4 キー	
F3= 終了 F4=リスト F5= 再表示 F10= 時刻表の使用 F12= 取消し			続く ...

図 21. バッチ・ジョブのスケジュール(1 ページ目)

図21は、バッチ・ジョブのスケジュール画面の例を示したものです。この画面上のフィールドには、次の情報が示されます。

- | | |
|-------|--|
| 開始日 | 現在日付このフィールドが入力フィールドである場合には、表示される値を変更することができます。 |
| 開始時刻 | 現在の時刻または適用業務管理担当者が指定した時刻。このフィールドが入力フィールドである場合には、表示される値を変更することができます。 |
| バッチ環境 | 通常はドライバー環境の名前。このフィールドが入力フィールドであり、特殊な要件(例えば、出力データを特定の印刷装置で印刷するとか、ジョブの実行を通常より速めたいといった要件)がある場合には、バッチ環境を指定することができます。 |

開始日および開始時刻フィールドが画面上の入力フィールドである場合には、F10(時刻表の使用)キーを押してこのタスクを反復バッチ・ジョブとすることができます(33ページの『反復ジョブの実行』を参照)。

PAY/SALESFIG	バッチ・ジョブのスケジュール	
導入システム . . . :		省略時の導入システム
適用業務 :	PAYROLL	給与計算
タスク :	SALESFIG	販売数
タスク・パラメーターを指定して、実行キーを押してください。		
	-----+-----1-----+-----2-----+-----3-----+-----4-----+-----5	
1 - 50	_____	
51 - 100	_____	
101 - 150	_____	
151 - 200	_____	
201 - 250	_____	
251 - 300	_____	
301 - 350	_____	
351 - 400	_____	
401 - 450	_____	
451 - 500	_____	
501 - 512	_____	
F3= 終了	F5= 再表示	F11= 代替表示 F12= 取消し
		終り

図 23. バッチ・ジョブのスケジュール(2ページ目,代替表示)

図23は、バッチ・ジョブのスケジュール画面の2ページ目の代替表示の例を示したものです。この画面では、次の情報が表示されます。

パラメーター パラメーターの値を指定してください。ここで入力する値はドライバーによってではなく、バッチ・ジョブまたは処理リストのタスクの1つとして実行されるプログラムによって定義されます。詳細はプログラムの説明を参照してください。

実行キーを押してジョブを投入してください。

反復ジョブの実行

バッチ・ジョブを、特定の時刻または特定の日に2回以上実行したい場合には、バッチ・ジョブのスケジュール画面の1ページ目でF10(時刻表の使用)キーを押してください。図24に示すように、ドライバーにより追加の2つの入力フィールドが表示されます。

PAY/SALESFIG	バッチ・ジョブのスケジュール
次のバッチ・ジョブをスケジュールしようとしています。	
導入システム . . . :	省略時の導入システム
適用業務 :	PAYROLL 給与計算
タスク :	SALESFIG 販売数
必要な場合には、スケジュール・パラメーターを一時変更して、実行キーを押してください。	
開始日 :	<u>1993-03-19</u> YYYY-MM-DD
開始時刻 :	<u>18:17</u> HH:MM
バッチ環境 :	_____ リストは F4 キー
反復ジョブ・パラメーター :	
時刻表 :	_____ リストは F4 キー
終了日 :	_____ YYYY-MM-DD
F3= 終了 F4= リスト F5= 再表示 F10= 時刻表の展開 F12= 取消し 続く ...	

図 24. バッチ・ジョブ(反復ジョブ)のスケジュール

次の2つのフィールドに情報を入力してください。

時刻表 バッチ・ジョブを反復して実行したい場合には、既存の時刻表の名前を指定してください。時刻表を指定しない場合には、ジョブは1回しか実行されません。

終了日 バッチ・ジョブを最後に実行したい日付を指定してください。フィールドの右に表示される日付の形式を使用してください。

反復ジョブが指定した時刻表に従って実行する実際の日付と時刻を知りたい場合には、F10(時刻表の展開)キーを押してください。

番号	日付	週	曜日	時刻
1	1993-03-19	12	火曜日	18:17
2	1993-03-20	12	水曜日	02:09
3	1993-03-20	12	水曜日	10:09
4	1993-03-20	12	水曜日	18:09
5	1993-03-21	12	木曜日	02:09
6	1993-03-21	12	木曜日	10:09
7	1993-03-21	12	木曜日	18:09
8	1993-03-22	12	金曜日	02:09

続く ...

F3= 終了 F12= 取消し

図 25. 展開済みの時刻表項目の表示

図25は、展開済み時刻表項目の表示画面の例を示したものです。

バッチ・ジョブのスケジュール画面の1ページ目に戻った時点で処理を続行する方法については、29ページの『バッチ・ジョブのスケジューリング』を参照してください。

スケジュール済みバッチ・ジョブの処理

スケジュール済みバッチ・ジョブを調べることができ、必要であればスケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面を用いてスケジュール済みバッチ・ジョブを変更することができます。

この機能を使用するためには、サービス機能メニューでオプション6(スケジュール済みバッチ・ジョブの処理)を選択するか、簡略コードWRKSCDJOBを入力して、図26に示すような、スケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面を表示してください。

APD/WRKSCDJOB		スケジュール済みバッチ・ジョブの処理					
オプションを入力して、実行キーを押してください。							
2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 解放							
オプション	日付	時刻	状況	簡略コード	適用業務	導入	ユーザー
-	1993-03-19	08:17	CNL	SALESFIG	PAYROLL		JIM
-	1993-03-19	18:02	REC	BALANCING	PAYROLL	001	MARY
F3= 終了 F10= その他のジョブ F12= 取消し F18= サブセット F24= キーの続き							

図 26. スケジュール済みバッチ・ジョブの処理

図26は、スケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面の例を示したものであり、この画面においてスケジュール済みバッチ・ジョブを変更することができます。この画面上のフィールドには、次の情報が示されます。

日付	バッチ・ジョブが処理される日付
時刻	バッチ・ジョブが処理される時刻
状況	バッチ・ジョブの状況
簡略コード	バッチ・ジョブの簡略コード
適用業務	ジョブが属している適用業務のID
導入	ジョブが実行中である導入システムのID
ユーザー	バッチ・ジョブをスケジュールしたユーザーのID

36ページの図27に示すように、各タスクの説明を含む代替画面を表示するためには、F11 (ビュー2)を押してください。

APD/WRKSCDJOB スケジュール済みバッチ・ジョブの処理

オプションを入力して、実行キーを押してください。

2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 解放

オプション	日付	時刻	状況	テキスト
-	1993-03-19	08:17	CNL	送り状
-	1993-04-20	18:09	RLS	販売
-	1993-05-04	08:10	HLD	受け入れ

F5= 再表示 F11= ビュー 1 F17= 位置指定 F24= キーの続き

図 27. スケジュール済みバッチ・ジョブの処理(ビュー2)

注: F10を押してドライバーによってスケジュールされていないバッチ・ジョブのリストを表示することができます。詳細については、39ページの『他のバッチ・ジョブの検査』を参照してください。

スケジュール済みバッチ・ジョブの変更

スケジュール済みバッチ・ジョブを変更するには、オプション欄に2をタイプしてください。状況がRDY(実行可能),REC(反復),またはHLD(保留)であるバッチ・ジョブのみ変更することができます。

反復バッチ・ジョブの変更時には、スケジュール済みバッチ・ジョブの変更画面が表示されます。反復バッチ・ジョブ(時刻表がすでに定義されているバッチ・ジョブ)を変更する場合には、反復ジョブのパラメーター(時刻表および終了日)が自動的に表示されます。反復バッチ・ジョブを変更しない場合には、F10キーを押して反復ジョブのパラメーターを表示してください。

PAY/BALANCE	スケジュール済みバッチ・ジョブの変更	
導入システム . . . :		省略時の導入システム
適用業務 :	PAYROLL	給与計算
タスク :	BALANCE	タイム・カードの処理
必要な場合には、スケジュール・パラメーターを一時変更して、実行キーを押してください。		
開始日 :	<u>.1993-02-04</u>	YYYY-MM-DD
開始時刻 :	<u>.17:50</u>	HH:MM
バッチ環境 :	_____	リストは F4 キー
反復ジョブ・パラメーター :		
時刻表 :	<u>.PAYROLL02</u>	リストは F4 キー
終了日 :	<u>.1993-05-31</u>	YYYY-MM-DD
F3= 終了 F4= リスト F5= 再表示 F10= 時刻表の展開 F12= 取消し 終り		

図 28. スケジュール済みバッチ・ジョブの変更

図28は、スケジュール済みバッチ・ジョブの変更画面の例を示したものです。

必要な変更を指定してください。反復バッチ・ジョブを変更する場合には、実行キーを押して変更を確認するか、F10(時刻表の展開)を押してください。

注: 変更されたジョブは、スケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面で*CHGのマークが付けられます。

スケジュール済みバッチ・ジョブの削除

スケジュール済みバッチ・ジョブを削除するためには、スケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面上のジョブの左側にあるオプション欄に4をタイプしてください。指定したバッチ・ジョブが削除されてもよいか確認した上で実行キーを押してください。削除操作を取り消したい場合にはF3またはF12を押してください。削除された項目はスケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面で*DLTのマークが付けられます。状況がSBM(実行要求済み),ACT(活動中),またはRST(再始動可能)のバッチ・ジョブを削除することはできません。

スケジュール済みバッチ・ジョブの保留および解放

スケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面で、バッチ・ジョブを保留して、指定した日時に処理されないようにすることができます。保留したいバッチ・ジョブにカーソルを位置付け、オプション3(保留)を指定してください。保留された項目には、*HLDのマークが付けられます。

注: 保留できるのは、状況がRDY(実行可能)またはREC(反復中)のバッチ・ジョブだけです。

スケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面では、保留されたジョブを指定した日時に行えるように解放することもできます。ジョブの解放時に指定した日付と時刻がすでに過ぎている場合には、ドライバーによってジョブが直ちに処理されます。解放したいジョブにカーソルを位置付け、オプション6(解放)を指定してください。解放された項目には、*RLSのマークが付けられます。

注: 解放できるのは、状況がHLD(保留)のバッチ・ジョブだけです。

他のバッチ・ジョブの検査

スケジュール済みバッチ・ジョブの処理時には、ドライバーによって制御されることのないバッチ・ジョブの状況を検査することもできます。スケジュール済みバッチ・ジョブの処理画面でF10(その他のジョブ)を押して、ドライバーの制御下でないすべての現行バッチ・ジョブを表示してください。バッチ・ジョブの表示画面には、ドライバーによりスケジュールされておらず、実行依頼もなされていない、バッチ・モードで実行中の全ジョブのリストが表示されます。

バッチ・ジョブの表示				
ジョブ	ユーザー	日付	時刻	状況
SALESFIG	JIM	1993-03-22	13:49:25	実行中
BATCHJOB2	BOB	1993-03-22	14:33:19	待機中

F3= 終了 F5= 再表示 F12= 取消し F17= 位置指定 F18= サブセット

図 29. バッチ・ジョブの表示

図29は、バッチ・ジョブの表示画面の例を示したものであり、この画面にはドライバーの制御下でない現行ジョブが表示されます。表示されたジョブにより、バッチ状態の全容を知ることができます。表示されているジョブに変更を加えることはできません。この画面上のフィールドには、次の情報が示されます。

- ジョブ AS/400において、すでに知られているジョブの名前。
- ユーザー ジョブを作成したユーザーのID。ユーザーIDのもとにあるすべてのジョブのリストが表示されます。他のユーザーのジョブを表示したい場合には、バッチ・ジョブの選択画面でF18(サブセット)を押してユーザーを選択してください。
- 日付 ジョブの作成日。
- 時刻 ジョブの作成時刻。
- 状況 ジョブの現在の状況。

バッチ・ジョブの表示画面でF18(サブセット)を押して、40ページの図30に示されているようなバッチ・ジョブの選択画面を表示してください。

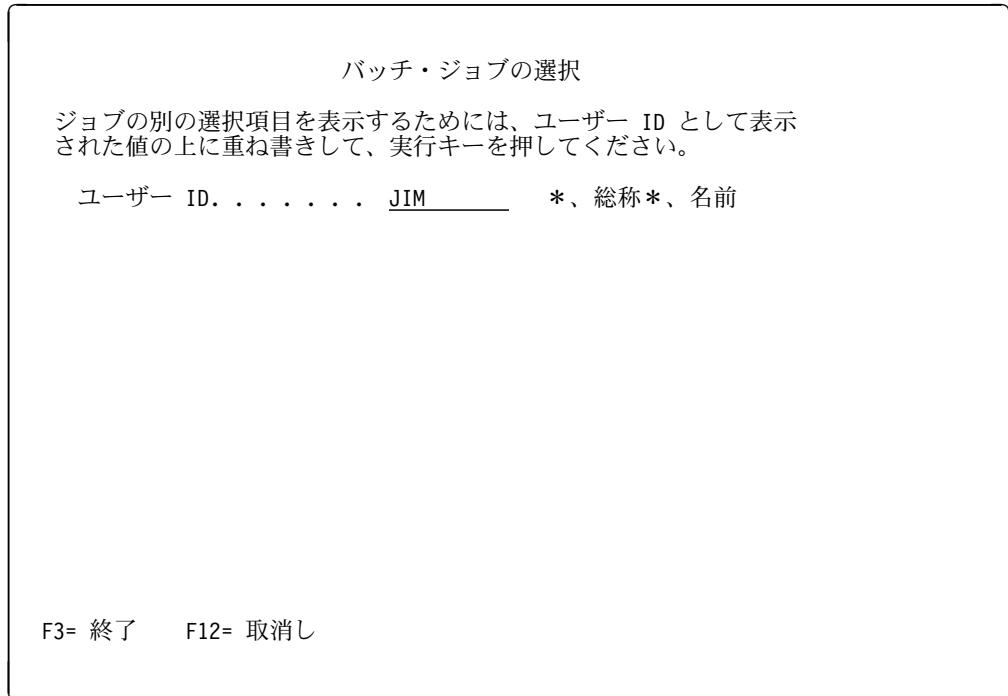


図 30. バッチ・ジョブの選択

図30はバッチ・ジョブの選択画面を示したものであり、この画面から他のユーザーIDのもとで実行中のバッチ・ジョブを表示することができます。

次の情報を入力してください。

ユーザーID バッチ・ジョブの表示画面に表示したいバッチ・ジョブのユーザー(複数の場合もある)を指定し、実行キーを押してください。

取消し済みジョブの処理

ジョブが中断またはAS/400システムの障害によって取り消された場合には、AS/400システムによって再始動が保留中であることが示されます。再始動が保留中である場合には、サイン・オンの後で、ただちに取消し済みジョブの処理画面が表示されます。

サービス機能メニューでオプション7(取消し済みジョブの処理)を選択するか、簡略コード WRKCNLJOBを入力して取消し済みジョブの処理画面を表示することもできます。

注: 再始動を行う場合には、異常終了の原因、および異常終了がまだ続いているかどうかを管理担当者にお問い合わせください。

下記の事項に留意してください。

- ジョブの投入を行っているユーザーまたは管理担当者のみが失敗したジョブの再始動または削除を行う権限があります。
- 失敗したジョブは取消し済みジョブの処理画面に表示されますが、表示されるのは開始して失敗したジョブだけです。ただし、F18(サブセット)を押して、他のユーザーの失敗したジョブを表示することができます。F18(サブセット)を押した場合には、特定ユーザーの

IDをタイプして、そのユーザーの失敗したジョブを表示してください。すべてのユーザーの失敗したジョブを表示するには、アスタリスク(*)を入力してください。

- 取消し済みジョブの処理画面上の項目は、ユーザーID別に分類されます。

APD/WRKCNLJOB		取消し済みジョブの処理				
オプションを入力して、実行キーを押してください。						
1= 選択 4= 削除 5= 表示 6= 解放						
オプション	ユーザー	簡略コード	適用業務	導入	処理タイプ	再始動タイプ
-	JIM	SALESFIG	PAYROLL	0001	I	M
-	JONES	ADMMDTA	APD		I	Y
-	SMITH	BATCHRUN1	MAPS	MAPS	B	M
F3= 終了 F5= 再表示 F12= 取消し F18= サブセット						

図 31. 取消し済みジョブの処理

図31は、取消し済みジョブの処理画面の例を示したものです。この画面のフィールドは次の通りです。

オプション	オプション欄に次のオプションの1つをタイプしてください。
	1 = 選択(取り消された対話式ジョブを再始動する)
	4 = 削除(再始動タイプMは有効でない)
	5 = 表示
	6 = 解放(取り消されたバッチ・ジョブを再始動する)
ユーザー	取り消されたジョブを投入したユーザーのID
簡略コード	取り消されたジョブの簡略コード
適用業務	取り消されたジョブが属している適用業務のID
導入	取り消されたジョブがスケジュールされている導入システムのID
処理タイプ	I 対話式タスク
	IL 対話式処理リスト
	B バッチ・タスク
再始動のタイプ	Y 通常の再始動の制御
	M 強制再始動

取り消されたジョブの再始動

取り消された対話式ジョブとバッチ・ジョブの両方を再始動することができます。次に説明されている処理を進めてください。

対話式ジョブ

取り消された対話式ジョブを再始動するためには、取消し済みジョブの処理画面で再始動したいジョブを選択してください。再始動したいジョブの左側にあるオプション欄に1をタイプして、実行キーを押してください。

取り消されたジョブを開始したユーザーであれば、ジョブは再始動され、ドライバーは中断されている対話式タスクに戻ります。

バッチ・ジョブ

取り消されたバッチ・ジョブを再始動させるためには、取消し済みジョブの処理画面の上の再始動させたいジョブを解放してください。解放したいジョブの左側にあるオプション欄に6をタイプし、実行キーを押して取消し済みバッチ・ジョブの解放画面を表示してください。

PAY/SALESFIG	取消し済みバッチ・ジョブの解放
導入システム . . . :	省略時の導入システム
適用業務 :	PAYROLL 給与計算
簡略コード :	BALANCE タイム・カードの処理

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

開始日 1993-01-30 YYYY-MM-DD

開始時刻 14:32 HH:MM

F3= 終了 F12= 取消し

続く ...

図 32. 取り消し済みバッチ・ジョブの解放

図32は取消し済みバッチ・ジョブの解放画面の例を示したものです。この画面のフィールドは次の通りです。

開始日 任意の有効な日付を入力することにより取り消されたバッチ・ジョブの再始動の日付を変更することができます。現在の日付より前の日付を指定すると、ドライバーは直ちにジョブを再始動します。

開始時刻 任意の有効な時刻を入力することにより取り消されたバッチ・ジョブの再始動の時刻を変更することができます。

実行キーを押してジョブを再始動してください。再始動された項目には、取消し済みジョブの処理画面上で*RLSのマークが付けられます。

取消し済みジョブの削除

取り消されたジョブを削除するためには、取消し済みジョブの処理画面の削除したいジョブの左側にあるオプション欄に4をタイプし、実行キーを押してください。

削除されたすべてのジョブには取消し済みジョブの処理画面上で*DLTのマークが付けられます。削除されたジョブをバッチ・システムから取り除くためには、ここでスケジュール済みジョブの処理画面のジョブのリストから該当のジョブを削除しなければなりません。削除されたすべてのジョブには、スケジュール済みジョブの処理画面上で *CNLのマークが付けられます。

バッチ・システムの状態の表示

ドライバー・バッチ・システムに投入したジョブが、予定された時刻に実行しなかったということまたはそのジョブが即時に実行するように投入された時点で開始しなかったということが通知された場合には、ドライバー・バッチ・システムが活動中であるかどうかを検査することができます。

ドライバー・バッチ・システムの状態を表示するためには、サービス機能メニューでオプション9(ドライバー・バッチ・システムの処理)を選択するか、簡略コードWRKMONSTSを入力してください。

図33は、ドライバー・バッチ・システムの処理画面の例を示したものです。

```
APD/WRKMONSTS      適用業務 プログラム・ドライバー・バッチ・システム の処理
適用業務プログラム・ドライバー/400バッチ・システムによって活動化されたジョブの数:
  現在活動中のジョブ数 . . . . . : 0000
  ジョブ待ち行列で待機中のジョブ数 . . . . . : 0001
適用業務プログラム・ドライバー/400バッチ・システムの状態 . . : 1   活動中

適用業務 プログラム・ドライバー/400バッチ・システム の要求された状態を指定して、
実行キーを押してください。
  要求された状態 . . . . . — 1 = 活動中
                              2 = 非活動中
                              3 = 保留
                              4 = 保留ロックなし
                              90 = ダウン

F3= 終了   F5= 再表示   F12= 取消し
```

図 33. ドライバー・バッチ・システムの処理

注: エンド・ユーザーはバッチ・システムの状態を変更することはできません。画面上で他の状態を指定しようとする、エラー・メッセージが表示され、ドライバー・モニターの状態の変更に対する権限をもっていないということが示されます。

ドライバー・バッチ・システムの通常の状態は活動状態です。活動状態以外の状態で、バッチ・ジョブを実行させたい場合、またはドライバー・バッチ・システムの状態が活動状態であるのにジョブが開始されていない場合には、ドライバーの管理担当者にお問い合わせください。

タスクの削除

タスクを削除するためには、次のことを行ってください。

1. 中断されたタスクへの移行画面から削除したいタスクを選択する。
2. 次のうちの1つを行うことによりドライバー・メイン・メニューに進む。
 - 任意のメニューのコマンド行に簡略コードMAINを入力する。
 - F3を必要なだけ繰り返し押し戻してメイン・メニューに戻る。
3. ドライバー・メイン・メニューにあるオプション90(タスクの終了)を選択してタスクを削除する。

任意のメニュー画面で簡略コードSIGNOFFを入力することにより、タスクを削除することもできます。

タスクを削除する場合には、削除操作に制御権が移される前に活動中の最後のタスクに戻ることになります。アテンション・キーを再び押すことにより、削除されたばかりのタスクが表示されないことを中断されたタスクへの移行画面により確認することができます。

最後のすなわち唯一のタスクを削除しようとした時点では、確認画面が表示されます。ここでドライバーを本当に終了させたいのかどうかを指示しなければなりません。指示しないと、ドライバーのタスクが再開されます。

付録A. プルダウン・メニュー

この付録には、ドライバー・メイン・メニューのメニュー・バーから使用できるプルダウン・メニューのサンプル・レイアウトが示されています。

プルダウン・メニューの活動化

プルダウン・メニューを表示するためには、F10(メニュー・バー)を押してメニュー・バー選択項目にカーソルを位置付けるか、タブ・キーまたは矢印キーを用いてメニュー・バー選択項目にカーソルを移動させ、実行キーを押してください。プルダウン・メニューを終了させるためには、F10(メニュー・バー)またはF12(取消し)を押します。

プルダウン・メニューのオプション

プルダウン・メニューからオプションを選択するためには、オプション・フィールドにオプションの番号をタイプしてください。実行キーを押す必要はありません。

選択したいメニュー・オプションにカーソルを位置付け、実行キーを押すこともできます。

オプションに関するプルダウン・メニュー

図36には、メニュー・バーからオプションを選択した時点で表示されるプルダウン・メニューが示されています。このプルダウン・メニューには個々のユーザーの設定値が含まれています。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
.....					
: 1.	メニュー・ウインドウ・オン/オフ:	メイン・メニュー			
: 2.	簡略コード・オン/オフ.....	:			
: 3.	メニュー・バー・オン/オフ....	:			
: 4.	一時サイン・オフ.....	:			
: 5.	終了タスク.....	:	ライバー		
:		:			
:		:			
.....					
90.	タスクの終了				
選択項目または簡略コード					

F4= リスト F10=メニュー・バー F24= キーの続き					

図 36. プルダウン・メニュー(オプション)

次のオプションは、オプションプルダウン・メニュー上で使用することができます。

1. メニュー・ウィンドウ オン/オフ
オプション1を選択してメニュー・ウィンドウをオンまたはオフに切り替えます。この切り替えは、ただちに有効となります。
2. 簡略コード オン/オフ
オプション2を選択して簡略コードを表示するか、隠すことができます。
3. メニュー・バー オン/オフ
オプション3を選択してメニュー・バーをオフに切り替えます。タスクの終了を用いてドライバーを終了させてから、再びドライバーを開始することにより、この切替えが有効となります。
4. 一時的なサイン・オフ
オプション4を選択するとドライバーを一時的に終了します。
5. タスクの終了...
オプション5を選択してドライバーを終了します。ドライバーの終了確認ウィンドウが表示されます。

環境に関するプルダウン・メニュー

図37には、メニュー・バーから環境を選択した時点で表示されるプルダウン・メニューが示されています。このプルダウン・メニューを用いて適用業務が実行中である環境を変更します。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD/MAIN	:	1. 導入システム ...	:		
	:	2. 適用業務 ...	:		
次の1つを	:	3. データ・セット ...	:		
	:	4. タスク ...	:		
1. 適	:	5. 印刷装置 ...	:		
	:	6. 言語 ...	:		
50. オ	:		:		
51. AS/4:	:		:		
	:		:		
90. タスクの終了	:		:		

選択項目または簡略コード

F4= リスト F10=メニュー・バー F24= キーの続き

図 37. プルダウン・メニュー(環境)

次のオプションが環境プルダウン・メニュー上で使用できます。

1. 導入システム...

22ページの『導入システムの選択』において説明したように、他の導入システムで処理するためには、オプション1を選択してください。

2. 適用業務...

現行導入システムのメイン・メニューを表示するためには、オプション2を選択してください。

3. データ・セット...

23ページの『データ・セットの選択』で説明したように、他のデータ・セットを用いるためにはオプション3を選択してください。

4. タスク...

処理が認可されているすべてのタスクの簡略コードを表示するためには、オプション4を選択してください。

5. 印刷装置...

24ページの『印刷装置環境の選択』で説明したように、印刷装置を指定するためには、オプション5を選択してください。

6. 言語...

26ページの『言語の選択』で説明したように、言語の優先順位のリストを指定するためには、オプション6を選択してください。

操作に関するプルダウン・メニュー

図38には、メニュー・バーから操作を選択した時点で表示されるプルダウン・メニューが示されています。OS/400操作を実行するドライバー・タスクのサブセットから選択を行うためにはこのプルダウン・メニューを用いてください。

オプション	環境	操作	サービス	オフィス	ヘルプ
APD/MAIN		: _ 1. 印刷装置出力 ...		:	
		: 2. ジョブ ...		:	
次の1つを選択してくだ		: 3. メッセージ ...		:	
		: 4. メッセージの送信 ...		:	
1. 適用業務プログ		: 5. パスワード変更 ...		:	
		: 6. 操作援助機能 ...		:	
50. オフィスビジョン		:		:	
51. AS/400 操作援助		:		:	
		:.....		:	
90. タスクの終了					
選択項目または簡略コード					

		F4= リスト	F10=メニュー・バー	F24= キーの続き	

図 38. プルダウン・メニュー (操作)

次にあげるオプションがサービスプルダウン・メニュー上で使用できます。

1. 個人用メニュー...

28ページの『個人用メニューの作成』に説明したように、個人用メニューを管理するためにはオプション1を選択してください。

2. メニューの開始...

29ページの『個人用メニューの使用』に説明したように、初期メニューを設定するためにはオプション2を選択してください。

3. 初期プログラム...

25ページの『初期プログラムの選択』に説明したように、ドライバーに対するサイン・オンの時点で実行する初期プログラムを指定するためには、オプション3を選択してください。

4. スケジュール済みジョブ...

35ページの『スケジュール済みバッチ・ジョブの処理』に説明したように、スケジュールされたジョブを処理するためには、オプション4を選択してください。

5. 取消し済みジョブ...

40ページの『取消し済みジョブの処理』に説明したように、取り消されたジョブを処理するためには、オプション5を選択してください。

6. コマンド...

AS/400コマンドウィンドウを表示するためには、オプション6を選択してください。このウィンドウでは、コマンドのリストを表示するためにはF4(プロンプト)、前のコマンドに戻るためにはF9(コマンドの複写)、またはウィンドウを終了させるためにはF12(取消し)を押すことができます。

7. サービス機能...

14のオプションからなる、サービス機能メニューを表示するためにはオプション7を選択してください。

付録B. メニュー・ウィンドウのカスケード表示

処理時には次々にメニュー・ウィンドウを活動化することができます。これによりウィンドウがカスケード表示されることとなります。

ウィンドウは4つの位置でカスケード表示されます。5番目のメニューが要求された場合には、そのメニューは位置番号1のメニュー・ウィンドウに重ねられます。以下同様です。重ねられるメニュー・ウィンドウの数には制限がありません。

メニュー・ウィンドウをメニュー・バーとともに使用しているときには、次のことを思い出してください。

- 表示されているメニュー・バーは常に現行の全画面メニューに属しています。
- メニュー・ウィンドウを表示元のメニュー・バーとともに使用しているときには、次の2通りの方法のうちのいずれかに従ってそのメニュー・バーを表示することができます。
 - F23(初期メニューの設定)を押して、初期メニューとしてウィンドウ中に現在表示されているメニューを設定します。初期メニューは、常に全画面モードで表示されます。
 - メニューの画面モードをウィンドウから全画面に変更したい場合には、適用業務管理担当者に問い合わせてください。

この付録には、メニュー・バーがある場合とない場合における画面上のカスケード表示のメニュー・ウィンドウの例が示されています。

メニュー・バーのあるメニュー・ウィンドウのカスケード表示

次のいくつかの例は、メニュー・バーのある画面におけるメニュー・ウィンドウのカスケード表示を示したものです。57ページの図42は、メニュー・バーのある画面上でカスケード表示された2つのメニュー・ウィンドウを示したものです。

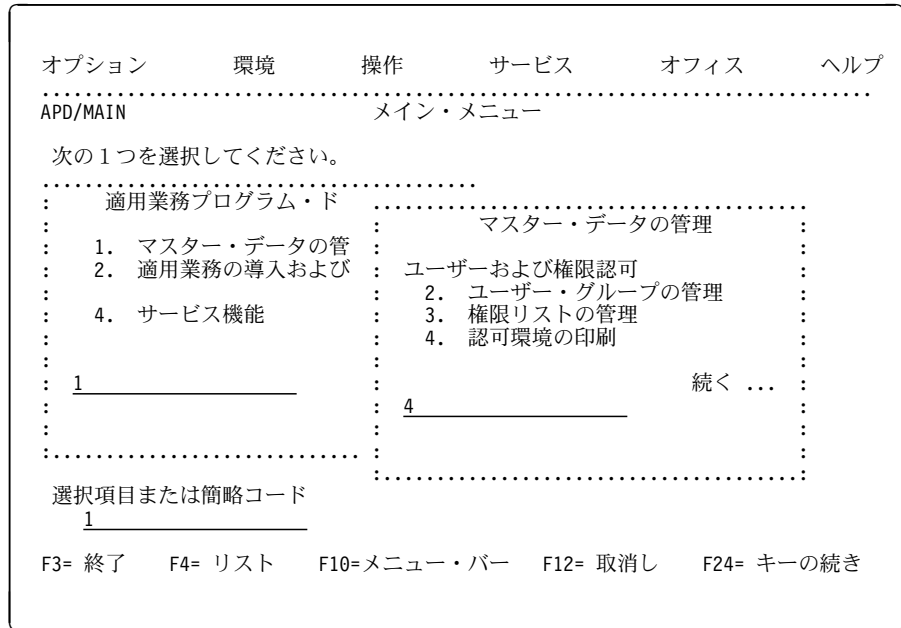


図 42. 2つのメニュー・ウィンドウのカスケード

図43は、メニュー・バーのある画面上でカスケード表示された3つのメニュー・ウィンドウを示したものです。

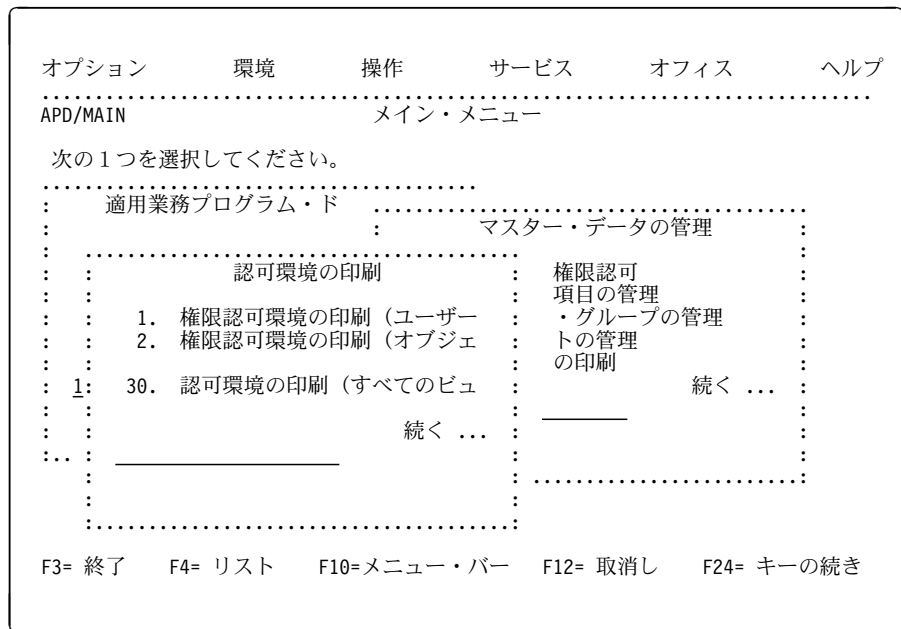


図 43. 2つのメニュー・ウィンドウのカスケード

図47は、メニュー・バーのない画面上でカスケード表示された4つのメニュー・ウィンドウを示したものです。

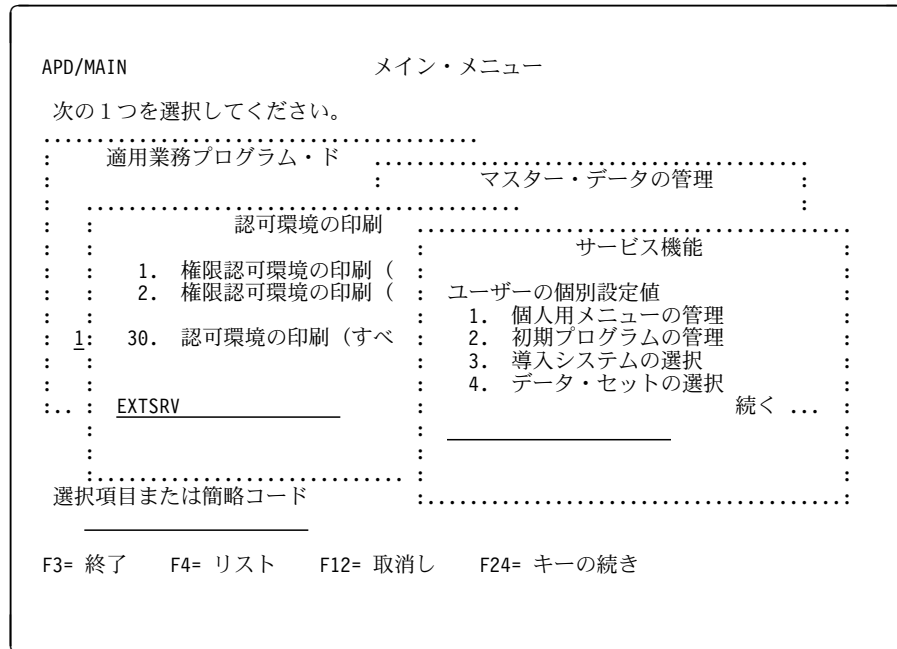


図 47. 2つのメニュー・ウィンドウのカスケード

用語および略語集

この用語集は、ドライバー・ライブラリーにおいて使用される用語の意味を定義したものです。

A

適用業務. インターフェース・プログラム。

(application).. 在庫管理や給与計算のような特定のデータ処理タスクを実行するために使用されるプログラム。

適用業務インターフェース・プログラム(AIP)(application interface program (AIP)).. 機能インターフェースであって、対応する適用業務を呼び出すためにドライバーにより使用されるもの。

API.. 適用業務プログラム・インターフェース。

適用業務プログラム・インターフェース(API)(application program interface (API)).. 高水準言語または低水準言語で書かれた適用業務プログラムで、特定のデータやドライバーの諸機能を使用できるようにする機能インターフェース。

(authorization).. オブジェクト、資源または機能に対する全アクセスまたは制限付きのアクセスのいずれかをユーザーに認可する処理。

権限リスト(authorization list).. 権限リストは、メニュー、メニュー・オプション、導入システム、およびデータ・セットを無認可アクセスから保護するために使用される。権限リストは、10桁の権限リスト名および権限リスト項目のリストから成り、各権限リスト項目はそれぞれユーザー名および権限レベルから成る。

B

バックアップ(back up).. 安全保護のためにシステム上のオブジェクトの一部または全部をテープまたはディスクに保管する処理。

バックアップ(backup).. (1) (1)現物が消失または破損した場合にその代わりとして使用される代替コピーに関する用語。バックアップ・ログなど。(2) (2)システム上のオブジェクトの一部または全部をテープ、ディスク、または保管ファイルに保管する処理。(3) (3)保管されたオブジェクトが入っているテープ、ディスク、または保管ファイル。

バッチ・モニター・プログラム(BMP)(Batch Monitor Program (BMP)).. バッチ・ジョブを制御するためにドライバーにより、使用されるプログラム。

(batch processing).. 1つまたは一連のプログラムを実行する方法であって、ユーザーまたは操作員の処置をほとんど必要とせず

に1つまたは複数のレコード(バッチ)が処理されるもの。*対話式処理(interactive processing)*と対比。

BMP.. バッチ・モニター・プログラム。

C

CL.. 制御言語。

コマンド(command).. システムの機能を要求するために使用するステートメント。コマンドは、要求する機能を識別するコマンド名の省略形とそのパラメーターで構成される。

共通ユーザー・アクセス(CUA)(Common User Access (CUA)).. 画面上に情報を表示する方法、およびユーザーとコンピューターとの間の対話手法を記述した一連の指針を提供するシステム・アプリケーション体系(SAA)の仕様に関する用語。

制御言語(control language).. ユーザーがシステム機能を要求するために使用するすべてのコマンドのセット。

制御レコード(control record).. ライブラリーおよびフォルダーに対する保管操作が記述されているもの。レコードの中には、保管サイクル、記憶される世代の数、媒体、および開始日が含まれる。

CUA.. 共通ユーザー・アクセス。

D

データ記述仕様(DDS)(data description specifications (DDS)).. ユーザーのデータベース・ファイルまたは装置ファイルに関する記述で、固定形式でシステムに入力される。この記述に基づいてファイルが作成される。

(data set).. 適用業務内に含まれるデータ環境。複数のデータ・セットが使用できる適用業務では、データ・セットを個別の部門または顧客用に使用することができる。

DBCS.. 2バイト文字セット。

DDS.. データ記述仕様。

省略時の値、省略時解釈(default).. ユーザーが値を指定しなかった場合にシステムまたはプログラムによって自動的に提供される値または前提とされる値。

DLO.. 文書ライブラリー・オブジェクト。

文書ライブラリー・オブジェクト (DLO) (document library object (DLO)). 文書ライブラリーに入れることのできる任意のシステム・オブジェクト。RFT文書,FFT文書,フォルダー,およびPCファイルなどがある。

2バイト文字セット(DBCS)(double-byte character set (DBCS)). 各文字が2バイトで表現される文字セット。日本語,中国語,および韓国語などの言語の場合は,256コード点によって表すことのできる記号以上の記号が含まれ,2バイト文字セットが必要となる。各文字に2バイトが必要であるため,DBCS文字を打鍵,表示,および印刷するには,DBCSをサポートしているハードウェアおよびプログラムが必要である。

E

(exclusion). 排他により,1つの適用業務で同時に活動化することができないプログラムが定義される。

(exclusion list). 排他リストにより,タスクがグループに結合される。排他リストを定義することにより,プログラムごとに排他を指定する処理を省略することができる。同じ排他特性をもつプログラムを排他リストの中で結合することができる。排他リストは,機能リストまたはオブジェクト・リストのどちらかとすることができる。

(expert code). メニューまたはプログラムを呼び出すために使用するコマンドまたはコマンドの省略形。簡略コードを入力することにより,ユーザーは,メニュー,タスク,またはプログラムに(中間メニューを呼び出すことなしに)直接アクセスすることができ,また,サイン・オフまたはサイン・オンをすることなく適用業務相互間で切替えを行うことができる。メニュー画面でF4を押すと,特定のユーザーに認可されているすべての簡略コードのリストが表示される。

F

(folder). 文書の登録簿。フォルダーは,関連した文書をグループ化するため,および文書を名前で探索するために使用される。このオブジェクト・タイプのシステム認識識別名は*FLR。ライブラリー(library)と対比。

(function key). 特定の鍵盤機能またはプログラマー機能を選択するために使用される鍵盤キー。使用可能なキーは,画面表示の23行目に表示される。

H

(help function). 画面上でヘルプ・キーまたはF1を押すことにより,カーソルの位置に応じて画面の特定部分または画面全体の説明が表示される機能。カーソルがメッセージ上に置かれている場合には,該当のメッセージの第2レベルのテキストが表示される。

高水準言語。(high-level language). RPG, BASIC, PL/I, Pascal, COBOL,Cなどのプログラミング言語で,コンピューター・プログラムの作成に使用されるもの。

HLL. 高水準言語。

I

IBM SAA OfficeVision/400バージョン3(IBM SAA OfficeVision/400 Version 3). メール準備,送信,および受信,予定表における事象のスケジュール項目,名前と住所録の登録項目のメンテナンス,文書のファイル化と検索,および配布リストの作成とメンテナンスを可能にするIBMライセンス・プログラム。SAA OfficeVision/400は,ワード処理機能および他のユーザーの代行処理も可能にする。

初期メニュー(initial menu). サインオンの後に表示される最初の画面。ユーザーごとに個人用初期メニューを設定することができる。メニュー上でF23を押すことにより,そのメニューは特定のユーザーの初期メニューとしてラベル付けされる。

(installation). 複数の適用業務およびデータ・セットを含む特定の処理環境。たとえば,異なる導入システムをテストおよび実稼働環境のために使用することができる。

(interactive processing). 各操作員の処理により,プログラムまたはシステムから応答が出される処理方式。バッチ処理(batch processing)と対比。

J

(job). (1) (1)コンピューターによって遂行される作業の単位。(2) SAA OfficeVision/400予定表機能で,制御言語(CL)コマンドをスケジュールリングして任意の日付と時刻に実行できるようにするための項目。

(journal). ジャーナル処理中のオブジェクト,現行のジャーナル・レシーバー,およびジャーナルのためにシステム上にあるすべてのジャーナル・レシーバーを識別するシステム・オブジェクト。このオブジェクトのシステム認識識別コードは*JRN。

(journal receiver). システム・オブジェクトであって,この中にはオブジェクトの変更,例えばジャーナル処理中のファイルの更新に追加されるジャーナル項目が入れられる。オブジェクト・タイプは*JRNRCV。

(journaling). ジャーナルの物理ファイル・メンバーになされた変更を記憶する処理。

L

言語優先順位リスト(language priority list).. ドライバーにおいて、ユーザーの指定により優先順位の付けられた、使用できる言語のリストであり、このリストにより優先順位の付けられた言語の1つで適用業務を使用することができる。優先順位リスト中の番号の1は、ユーザーが指定した最も優先順位の高い言語を示す。

(library).. 他のオブジェクトの登録簿としての役割を果たすシステム・オブジェクト。ライブラリーでは関連したオブジェクトがグループ化されていて、ユーザーはオブジェクトを名前で見つけることができる。このオブジェクト・タイプのシステム認識識別名は*LIB。フォルダー(folder)と対比。

(library list).. 探索するライブラリーおよびその中で探索する順序を指示するリスト。システム認識識別コードは*LIBL。

ライブラリー名テンプレート(library name template).. 導入システムとデータ・セットIDを組み合わせて使用される名前の指定のための規則であり、複数の導入システムまたは複数のデータ・セットをサポートする適用業務の導入時にライブラリー名を解析するために使用される。

ローカル・データ域(local data area).. ジョブ中のプログラム相互間で情報の受渡しに使用される1024バイトのデータ域。各ジョブごとに別個のローカル・データ域が自動的に作成される。

M

(menu).. ユーザーが選択できるように表示された項目のリスト。このオブジェクト・タイプのシステム認識識別名は*MENU。

(menu bar).. 画面の上部のキーワードが入っている区域であって、該当の画面で行なえる処置を選択するためのもの。ユーザーがメニュー・バーの中の選択項目を要求すると、メニュー・バーの下部にプルダウン・メニューが表示される。

(message).. AS/400システムまたはドライバーによって送られる情報であって、画面の24行目やウィンドウ形式内に表示されるもの。

MNCS.. 各国間共通文字セット。

続く(More).. 画面およびメニューが2ページ以上にわたる場合、最後の画面を除くすべての画面の最下部に続く...が表示される。

画面上でまたはメッセージ行にカーソルを位置付け、F8を押して最下部が表示されるまで、画面の表示を続けることができる。

多国語サポート機能(multilingual support).. 1つのシステムに2つ以上の各国語を含むサポート。各国語サポート(National Language Support)も参照。

各国間共通文字セット(MNCS)(multinational character set (MNCS)).. 特定の言語グループ内の言語をサポートする図形文字のセット。

N

各国語サポート(NLS)(National Language Support (NLS)).. 言語の異なる諸国にも結果が受け入れられるように、選択された言語でハードウェアおよびソフトウェア・プロダクトと通信できるようにするもの。多国語サポート機能(multilingual support)も参照。

NLS.. 各国語サポート。

O

(object).. オブジェクト自体を記述する一組の特性と、場合によってはデータとから構成される名前のついた記憶スペース。オブジェクトとは、記憶域の中に存在してそのスペースを占め、それに対して何らかの操作を行うことができるものをいう。オブジェクトの例に、プログラム、ファイル、ライブラリー、およびフォルダーなどがある。

オフィスビジョン(OfficeVision).. IBM SAA OfficeVision/400バージョン3(IBM SAA OfficeVision/400; Version 3)を参照。

(Operational Assistant).. オペレーティング・システムの一部。一連のメニューおよび画面をエンド・ユーザーに提供し、印刷出力、メッセージ、およびバッチ・ジョブの処理などの共通処理が実行できるようにする。

(output queue).. 印刷装置またはディスクなどの出力装置に書き出すスプール・ファイルのリストが入るオブジェクト。このオブジェクト・タイプのシステム認識識別コードは*OUTQ。

P

パラメーター(parameter).. コマンドまたはプログラムに与えられる値で、入力として使用されるか、あるいはコマンドまたはプログラムの処置を制御するために使用されるもの。

(process list).. 順次に自動的に処理されるプログラムまたはコマンド・タスクのリスト。最後の項目をメニューとすることができる。処理リストは、その中ですべてのタスクが呼び出される特殊のタイプのメニューである。最後のタスクの処理が終了しない限り、前のメニューまたは処理リストの最後のメニューに制御が戻されない。

(program).. コンピューターが解釈して実行できる一連の命令。

(**pull-down menu**).. メニュー・バーの拡張であって、メニュー・バーの中にユーザーが選択した選択項目の使用可能な選択項目のリストを表示するもの。ユーザーがメニュー・バーから項目を選択した後で、プルダウン・メニューが表示される。

Q

(**queue**).. 読取りを待っているメッセージ、ジョブ、ファイル、または要求のリスト。

R

(**restart**).. バッチ・ジョブが予定通りに実行できなかった場合にとられる必要な処置。

(**restore**).. データをテープ、ディスク、または保管ファイルから補助記憶装置へコピーすること。保管(*save*)と対比。

S

SAA.. システム・アプリケーション体系。

(**save**).. 特定のオブジェクト、ライブラリー、またはデータを主記憶装置または補助記憶装置から転送することによって、テープ、ディスク、または保管ファイルなどの媒体にコピーすること。復元する(*restore*)と対比。

(**scheduled job**).. 指定された日時において実行適格となるバッチ・ジョブ。

(**scroll**).. 表示画面の境界内では見ることができないデータを表示するために、表示イメージを縦方向または横方向に移動させること。

SEU.. 原始仕様入力ユーティリティー。

原始仕様入力ユーティリティー(SEU)(source entry utility (SEU)).. AS/400適用業務開発ツール・ライセンス・プログラムの1つの機能であって、原始メンバーの作成と変更のために使用されるもの。

(**spooled file**).. 印刷待ちの情報のような、処理待ちの出力データを入れるファイル。

(**start program**).. サインオン時に実行する、ユーザーが定義したプログラム。

記号ライブラリー名(symbolic library name).. 複数の導入システムまたは複数のデータ・セットをサポートする適用業務でライブラリーまたは複数のデータ・セットをサポートする適用業務でライブラリーを表すために指定する名前。記号ライブラリー名は、ライブラリー名テンプレートといっしょに用いられません。

システム・アプリケーション体系(SAA)(Systems Application Architecture (SAA)).. OS/2,OS/400,VM/370,およびMVS/370オペレーティング・システムなどの戦略的なオペレーティング・システム用に共通ユーザー・インターフェース、プログラミング・インターフェース、適用業務プログラム、および通信サポートを設計するための1組の規則を定義した体系に関する用語。

T

(**tape cartridge**).. 磁気テープのリールを内包しているケースで、テープをリールに巻きつけずにテープ装置に取り付けることができる。

(**tape drive**).. テープを駆動し、情報を磁気テープから読み取るかまたはそこに書き出すために使用する装置。

(**task**).. 実行される処理の基本単位。ドライバーには、次の6種類のタスクがある。

- コマンド
- メニュー
- メニュー・バー
- 処理リスト
- プログラム
- プルダウン

テキスト・データ(textual data).. メニュー、画面、リスト、プロンプト、オプション、オンライン・ヘルプ情報、およびメッセージなどの集まりを示す語。

(**timetable**).. 計画された配列または順序を表わす予定表であって、反復バッチ・ジョブを実行する時刻を決定するためにドライバーで用いられるもの。

トグル(toggle).. ユーザーが2種類以上の操作の間で切り替えることができる、鍵盤状のトグル・キーなどの切替え装置に関する用語。例えば、ドライバーでは、F11を押して簡略コードを表示することができ、F11をも一度押して元の画面に戻ることができる。

U

UIM.. ユーザー・インターフェース管理機能。

ユーザー・プログラム(user exit).. ドライバーから制御を受け取るプログラム・ルーチンであって、ドライバー機能が提供するサービスを拡張するもの。

(**user identification (user ID)**).. ユーザーがシステムにサイン・オンする時に、ユーザーとユーザー・プロフィールとを結び付けるのに使用する名前。

ユーザー・インターフェース管理機能(UIM)(User Interface Manager (UIM)).. オペレーティング・システムの機能の1つ

で、パネル(画面)、対話、およびオンライン・ヘルプ情報の定義および実行のための広範なサポートを備えた一貫性のあるユーザー・インターフェースを提供する。

(user password).. システム資源が保護されている場合に、システム・ユーザーがシステムに対して自分自身を識別するために入力する固有の文字ストリング。

(user profile).. 固有の名前をもつオブジェクトで、ユーザーのパスワード、ユーザーの割り当てられた特殊な権限のリスト、およびユーザーの所有するオブジェクトを含むもの。このオブジェクト・タイプのシステム認識識別コードは*USRPRF。

V

(value). 入力フィールドに入力されたデータ(数字または文字ストリング)およびCLコマンドのパラメーターに与えられたデータ。

W

ウィンドウ(window).. 情報が表示される表示画面の一部であり、この画面に視覚的に境界が付けられたもの。例えば、ドライバーでは、F17(位置指定)を(適用できる場合に)押すと、現行の画面にリストの位置指定画面ウィンドウが表示される。

参考資料

ドライバーに関する関連資料および概要を知る上で役立つその他の資料は次の通りです。

IBM Application Program Driver/400 Version 3 IBM適用業務プログラム・ドライバー/400 バージョン3の資料

- 管理担当者の手引き, SH88-5031-00
- 開発担当者の手引き, SH88-5032-00
- 概説, GH88-5029-00
- プログラム仕様書, GH88-5017

その他のIBMの資料

- *AS/400 Using OfficeVision/400*, SH21-0697
- *AS/400 基本機密保護*, SC88-5268
- *AS/400 National Language Support*, SC41-4101
- *AS/400 CL(制御言語)解説書*, SC88-5499

索引

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

〔ア行〕

値 66

移行、中断されたタスクへの

新しいタスクの開始 46

アテンション・キー 45

説明 45

タスクの削除 47

タスクの選択 46

タスクの追加 46

例 45

APD_GROUPJOBS_MAXIMUMパラメーター 45

オブジェクト 64

オプションに関するプルダウン・メニュー

メニュー・オプション 49, 50

例 49

〔カ行〕

開始、新しいタスクの

説明 46

開始、ドライバーの

ステップ 18

カスケード

メニュー・ウィンドウ 56

メニュー・バーのある 56

メニュー・バーのない 59

カスケード,ウィンドウ・バーのある

2つのウィンドウ 57

3つのウィンドウ 57

4つのウィンドウ 58

カスケード,メニュー・バーのない

2つのウィンドウ 59

3つのウィンドウ 59

4つのウィンドウ 60

画面

印刷装置の選択 24

解放された取消し済みバッチ・ジョブ 42

機能キー 5

言語の選択 26

個人用メニューの管理 28

サービス機能 19, 20

情報フィールド 5

初期プログラムの選択 25

スケジュール済みバッチ・ジョブの処理 35

スケジュール済みバッチ・ジョブの変更 37

画面 (続き)

選択項目または簡略コード 5

中断されたタスクへの移行(1) 45

中断されたタスクへの移行(2) 46

データ・セットの選択 23

適用業務の言語の選択 27

適用業務プログラム・ドライバー 19

展開済みの時刻表項目の表示 34

導入システムの選択 22

ドライバー・バッチ・システムの処理 43

取消し済みジョブの処理 41

バッチ・ジョブのスケジュール(1ページ目) 30

バッチ・ジョブのスケジュール(2ページ目) 31

バッチ・ジョブのスケジュール(2ページ目,代替表示) 32

バッチ・ジョブの選択 40

バッチ・ジョブの表示 39

バッチ・ジョブ(反復ジョブ)のスケジュール 33

表示域 5

メイン・メニュー 18

メッセージ 5

メニュー・バー域 5

レイアウト 5

環境に関するプルダウン・メニュー

メニュー・オプション 50, 51

例 50

管理、個人用メニューの

フィールド,画面の 28

簡略コード

説明 6

他の適用業務 8

探索法 7

表示法 8

ADMMPMU 28

ADMSTRPGM 25

APD 18

definition 63

EXTSRV 19

HELPHelp 3

MAIN 47

SIGNOFF 47

SLTDS 23

SLTINS 22

SLTLNG 26

SLTPRT 24

WKRSCDJOB 35

WRKCNLJOB 40

WRKMONSTS 43

機能キー

- definition 63
- F10(メニュー・バー) 9
- F11 (オプション) 9
- F11 (簡略コード) 9
- F12 (取消し) 9
- F17 (位置指定) 9
- F18(サブセット) 9
- F1(ヘルプ) 8
- F23 (初期メニューの設定) 10
- F24 (キーの続き) 10
- F3(終了) 8
- F4 (リスト) 8
- F5 (最表示) 8
- F7 (前ページ) 8
- F8 (次ページ) 8
- F9 (コマンドの複写) 9

権限 62

言語優先順位リスト

- 説明 26
- 適用業務の言語の選択 27
- 例 26

definition 64

検査,他のバッチ・ジョブの

画面 39

個人用メニュー

- 個人用メニューの管理 28
- 作成 28
- 使用法 29
- 初期メニューにする 29
- 説明 28
- APD+ 29

〔サ行〕

サービス機能メニュー

- 印刷装置出力の処理 21
- 印刷装置の選択 21
- 言語の選択 21
- 個人用メニューの管理 20
- コマンド入力行 21
- 初期プログラムの管理 20
- スケジュール済みバッチ・ジョブの処理 20
- データ・セットの選択 20
- 適用業務プログラム・ドライバー・バッチ・システムの処理 21
- 導入システムの選択 20
- 取消し済みジョブの処理 20
- メッセージの処理 21
- ユーザー・ジョブの処理 21
- ユーザー・プロフィールの変更 20

再始動

definition 65

再始動、バッチ・ジョブの

画面のフィールド 42

説明 42

例 42

削除、スケジュール済みバッチ・ジョブの

説明 37

バッチ・ジョブの保留 38

削除、タスクの

簡略コードによる削除 47

ステップ 47

説明 47

削除,取消し済みジョブの 43

時刻表 65

実行,反復バッチ・ジョブの

説明 33

例 33

ジャーナル 63

ジャーナル処理 63

ジャーナル・レシーバー 63

出力待ち行列 64

使用、ドライバーの

開始法 18

画面のフィールド 39

サービス機能メニュー 19

初期メニュー 19

スケジュール済みバッチ・ジョブの削除 37

スケジュール済みバッチ・ジョブの処理 35

スケジュール済みバッチ・ジョブの変更 37

タスクの削除 47

タスクの選択 46

タスクの追加 46

取消し済みジョブの処理 40

バッチ・システムの状態の表示 43

バッチ・ジョブの再始動 42

バッチ・ジョブのスケジュール 29

バッチ・ジョブの選択 40

表示されないオプション 20

表示,バッチ・ジョブの 39

例 39

F18(サブセット) 39

初期プログラム 65

ジョブ 63

処理、ドライバー・バッチ・システムの

説明 44

例 43

処理、取消し済みジョブの

画面のフィールド 41

再始動 40

説明 40

取り消されたジョブの解放 42

処理、取消し済みジョブの (続き)
取り消されたバッチ・ジョブの再始動 42
例 41
F18(サブセット) 41
処理環境
印刷装置の選択 24
個人用メニューの作成 28
初期プログラムの選択 25
多国語サポート機能 26
導入システムの選択 22
メニュー・オプション 21
処理リスト 64
処理、スケジュール済みバッチ・ジョブの
画面のフィールド 35
説明 35
他のジョブの表示 36
ビュー2の例 36
例 35
スクロール 65
スケジュール、バッチ・ジョブの
値の変更 30
時刻表 33
説明 29
代替表示の例 32
バッチ・ジョブの投入 30
パラメーター項目 31
反復ジョブ 29
反復ジョブの実行 33
フィールド、画面の 30, 32, 33
1ページ目の例 30
2ページ目 31
2ページ目の例 31
スケジュール済みジョブ 65
スプール・ファイル 65
選択、印刷装置の
画面 24
画面のフィールド 24
説明 24
選択法 24
例 24
選択、初期プログラムの
画面のフィールド 25
初期プログラム画面 25
説明 25
例 25
選択、データ・セットの
画面 23
画面のフィールド 23
説明 23
選択法 23
例 23

選択、適用業務の言語の
説明 27
フィールド、ウィンドウの 27
例 27
選択、導入システムの
画面 22
説明 22
データ・セットの選択 23
フィールド、画面の 22
例 22
選択、バッチ・ジョブの
画面上のフィールド 40
例 40
選択、タスクの
オプション番号 6
3通りの方法 6
選択、中断されたタスクの
説明 46
例 46
操作援助機能 64
操作に関するプルダウン・メニュー
メニュー・オプション 51, 52
例 51

〔夕行〕

対話式処理 63
多国語サポート機能
言語の選択 26
言語優先順位リスト 26
タスク 65
他の諸機能
多国語サポート機能 1
プルダウン・メニュー 1
ポップアップ・ウィンドウ 1
メニュー表示 1
メニュー・バー 1
OfficeVision/400 1
探索見出し
使用法 4
データ・セット 62
テープ駆動装置 65
テープ・カートリッジ 65
適用業務 62
導入システム 63
ドライバー画面
機能キー 8
メッセージ 10

〔ハ行〕

- 排他 63
- 排他リスト 63
- バッチ処理 62
- バッチ・ジョブ
 - 再始動 42
 - 時刻表 33
 - 状況、バッチ・ジョブの 38
 - スケジュール 29
 - スケジュール済みジョブの削除 37
 - スケジュール済みジョブの変更 37
 - スケジュール済みバッチ・ジョブの処理 35
 - 他のジョブの検査 39
- 投入 30
- 取消し済みジョブの処理 40
- バッチ・システムの状態の表示 43
- バッチ・ジョブの解放 38
- 反復ジョブの実行 33
- 保留および解放 38
- 表示域
 - 説明 6
- フィールド,画面の
 - 簡略コード 6
 - 説明 6
 - タスクまたはメニューの説明 6
 - データ・セットID 6
 - 導入システムID 6
- フォルダー 63
- 復元する 65
- プルダウン・メニュー
 - オプションの選択 49
 - 活動化の方法 12, 49
 - 終了法 13
 - 使用できる機能キー 13
 - 選択、オプションの 12
 - 例 12
 - definition 64
- プルダウン・メニュー、オフィスに関する
 - メニュー・オプション 54
 - 例 54
- プルダウン・メニュー、サービスに関する
 - メニュー・オプション 52, 53
 - 例 52
- プルダウン・メニュー、ヘルプに関する
 - メニュー・オプション 55
 - 例 55
- プログラム 64
- ヘルプ
 - カーソル 13
 - 拡張 4
 - 画面からのアクセス 3
 - 機能画面 4
 - 探索見出し 4

- ヘルプ (続き)
 - 特定項目 4
 - 表示法 13
 - プルダウン・メニュー 3
 - メッセージ 4
 - メニュー 3
 - メニュー・バー 3
 - F1 3
- ヘルプ機能 63
- 変更、スケジュール済みバッチ・ジョブの
 - 時刻表の展開 37
 - バッチ・ジョブの状況 37
 - 例 37
- 保管 65
- ポップアップ・ウィンドウ
 - 選択機能 15
 - 適用業務の言語の選択 27
 - リストの位置指定 17
 - 例 15

〔マ行〕

- 待ち行列 65
- メッセージ
 - 種類 10
 - definition 64
- メニュー 64
- メニュー制御 13
- メニュー・ウィンドウ
 - 位置 56
 - カスケード 56
 - 使用法 15
 - 省略時値の設定 13
 - 制御 15
 - 説明 13, 14
 - マスター・データの管理 14
 - 例 14
- SWTMNUWDWコマンド 14
- 5番目のメニュー 56
- メニュー・ウィンドウ・カスケード 56
- メニュー・バー
 - 移動の方法 13
 - 活動化の方法 11
 - カラー 11
 - 使用できる機能キー 13
 - 省略時値の設定 10
 - 説明 11
 - 選択項目の数 11
 - プルダウン・メニューの活動化 12
- ヘルプ 13
- 例 11
- definition 64

メニュー・バー (続き)
F10(メニュー・バー) 11
SWTMNUBARコマンド 10

〔ヤ行〕

ユーザー識別コード(ユーザー ID) 65
ユーザー・パスワード 66
ユーザー・プロフィール 66

〔ラ行〕

ライブラリー 64
ライブラリー・リスト 64
レイアウト
 オフィス・メニュー 54
 オプション・メニュー 49
 環境メニュー 50
 サービス・メニュー 52
 操作メニュー 51
 ブルダウン・メニュー 49
 ヘルプ・メニュー 55

A

ADMPMU 28
ADMSTRPGM 25
AIP. 62
APD 18
APD/400
 画面 4
 簡略コード 1
 個人用メニュー 1
 サービス 1
 初期 1
 初期メニュー 19
 他の諸機能 1
 はじめに 1
 複数のタスク 45
 メイン・メニュー 18

E

EXTSRV 19

H

HELPHelp 3

M

MAIN 47

S

SIGNOFF 47
SLTDS 23
SLTINS 22
SLTLNG 26
SLTPRT 24

U

User Interface Manager 65

W

WRKCNLJOB 40
WRKMONSTS 43
WRKSCDJOB 35



ファイル番号: AS400-79
プログラム番号: 5716-PD1

Printed in Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社
東京都港区六本木 3-2-12 〒106
TEL (03) 3586-1111

